

令和元年度

教育委員会定例会（7月）議事録

四條畷市教育委員会事務局

教育委員会定例会

1 開催日時・場所

令和元年7月24日(水) 10時00分から14時24分
(12時00分から13時00分まで休憩)
四條畷市役所 本館3階 委員会室)

2 出席委員

教 育 長	植田 篤司
教育長職務代理者	山本 博資
委 員	吉田 知子
委 員	竹内 千佳夫
委 員	小田 みゆき

3 事務局出席者

教育次長兼教育部長	開 康成	生涯学習推進課上席 主幹(生涯学習推進 担当)兼主任	村上 始
教育部次長兼青少年 育成課長兼主任	阪本 武郎	公民館長兼主任	神本 かおり
教育部次長兼 学校教育課長	上井 大介	図書館長兼主任兼田 原図書館主任	田中 学
教育総務課長	板谷 ひと美	学校給食センター 所 長	林 雅弘
生涯学習推進課長	安田 美有希	教科書選定委員会 委 員 長	白井 克己
教育部上席主幹(教育総 務担当)兼学校教育課人 権教育・教科指導担当 課長兼教育センター長	木村 実	教育総務課主任	古市 靖之

4 議事録作成者

教 育 総 務 課 古市 靖之

5 付議案件

議案 第13号 令和2年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択について

植田教育長	<p>それでは、ただいまから7月の教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>なお、本日予定していましたがその他案件の公共施設再編については、意見交換に付する準備が整えませんでしたので、改めての委員会で付議させていただきたく、ご了承願います。申し訳ございません。</p> <p>それでは、四條畷市教育委員会会議規則第5条第2項に基づき、会議録署名者の指名を行います。本日の会議録署名者は竹内委員にお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p>
植田教育長	<p>議案第13号 令和2年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択についてを議題といたします。</p> <p>それでは、まず、事務局から本件の内容説明を願います。</p>
木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長	<p>議案第13号 令和2年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択について。</p> <p>令和2年度使用四條畷市立小中学校教科用図書について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条及び14条の規定により採択を求めるものでございます。</p> <p>提案理由といたしまして、令和2年度に四條畷市立小中学校で使用する教科用図書の採択を求めするため、本案を提案いたしました。それではまず、お配りさせていただいております資料に沿いましてご説明させていただきます。</p> <p>まず1点めが、「令和2年度使用教科書採択事務の経過報告」でございます。</p> <p>教科書採択に関しまして、教育委員会定例会及び選定委員会・調査委員会・見本本の移動展示及び教科書センターにおける展示等について、現在までの日程等をお示しさせていただいております。</p> <p>2点めは、「令和2年度使用四條畷市立小中学校教科用図書の採択に係る答申」でございます。</p> <p>本日は、この答申をもとにして、本市公立小中学校で来年度から使用します教科用図書について、どの発行者の教科書を採択するか決定していただきますよう、ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、ここからは、諮問いただきました選定委員会の委員長であります、くすのき小学校 白井校長よりご説明させていただきます。</p>
白井選定委員会委員長	<p>選定委員会委員長の四條畷市立くすのき小学校校長の白井と申します。</p> <p>それでは、まずは、答申の趣旨についてご説明いたします。四條畷市立学校教科用図書選定委員会(以下、選定委員会という)は、平成31年4月2</p>

	<p>4日に、四條畷市教育委員会から、令和2年度使用四條畷市立小中学校教科用図書の採択に係る諮問を受けました。</p> <p>当選定委員会は、令和2年度に四條畷市立小学校で使用する教科書について調査員会の設置を決定し、各小学校長より推薦された各種目3名の調査員に、教科書見本本の調査、研究を依頼しました。調査員会は、班長を中心に、約1ヶ月間をかけて調査研究を深め、調査事項報告書が作成されました。</p> <p>その結果については、選定委員長及び委員と事務局が、班長より調査事項報告書を受け取り、調査研究の経過と意向を聞き取りました。また、市内の全小学校において、全ての教科書見本本が移動展示され、学校ごとにまとめられた学校意見書についても、参考とすることにしました。</p> <p>当選定委員会は、教科用図書見本本の閲覧と調査研究を行い、大阪府教育委員会の令和2年度使用教科用図書選定資料及び各教科書発行者の教科書編修趣意書の研究を行いました。</p> <p>あわせて、令和2年度に四條畷市立中学校で使用する教科書につきましては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の調査研究の内容等を活用しながら当選定委員会は調査研究を行いました。</p> <p>このような調査研究や調査事項報告書、各種資料等を総合的に判断し、その特徴をまとめ選定委員会としまして、本市児童生徒が令和2年度に使用するにふさわしい教科書を別紙のとおり、答申いたします。</p>
植田教育長	<p>それでは今、説明のありました答申の趣旨についてご質問はございませんか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>なしと認めますので、次に進めさせていただきます。</p> <p>それでは、選定委員会の調査報告を受けながら、審議を行ってまいります。あらかじめここで採択の方法プロセスについてお諮りいたします。</p> <p>まずは令和2年度使用四條畷市立小学校教科用図書について「国語」から「道徳」までの「13種目」でございますが、「国語」より順に、1種目ずつ報告、審議、採択と進め、続いて、令和2年度使用四條畷市立中学校教科用図書について報告、審議、採択、と進めるということでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>異議なしとのお声がありましたので、そのように進めさせていただきます。</p> <p>また、13種目が終了いたしました後で、私より「採択」についての最終確認をさせていただきます。</p>

<p>白井選定委員会委員長</p>	<p>なお、13種目が終了しました後、私より採択についての最終確認をさせていただきます。それでは、採択プロセスに入ります。 白井選定委員長、「国語」から報告をお願いします。</p> <p>それでは答申の2ページからをご覧ください。 「国語」は「4社」から教科書が出版されております。 どの教科書も、国語の目標「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指す。」をふまえ、よく工夫されていました。 国語の内容である「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域が取り扱っている教材や言語活動を取り扱っている箇所、情報機器の活用や漢字の取扱いなど、様々な観点から特徴があげられました。 新学習指導要領の内容を意識して、対話的な学びや、よりよい言語感覚を養えること、また他教科との関連がいかに関わっているか、などが検討の観点になると思います。以上でございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>はい、ありがとうございます。それでは、それぞれ教科書を読まれての委員からのそれぞれご意見をお聞かせください。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>まず、東京書籍ですが、単元の冒頭に言葉の力というのが明示されており、身に付けたい言葉の力が分かる工夫があり、大変よかったと思います。また、子どもに親しみやすい、例えば5年生にそのような題材を扱っています。また、学校意見書にもありましたけれども、絵あるいはイラスト等吹き出しが多く、読みやすいという印象を受けました。 それから、光村図書ですが、同じく学校意見書のなかで、単元目標に学習のめあてや振りかえり等があり、また分かりやすいという意見がありましたけれども、私もそのように思います。例えば、同じ作者のことが、いろんな場面に紹介されて、関連事項があって読書にとっても興味を持つような工夫がされていました。 本市の教育目標が、ここについては言語力の育成ということをあげていまずし、全国学テのなかでも、言語力については力をつけていますので、そういう文学作品の扱いがよかったと思います。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>特に、学校図書については、言葉について一番力を入れていると感じられるところがありました。各学年の「漢字の広場」あるいは「ことばの部屋」で語彙や漢字の習得ができるように、とても子どもたちが興味を持って学習できるようにうまく工夫されていると感じました。6年生の上については、「電子メールで質問しよう」というところがあり、現在の一つの大きな課題である電子メールのやり方、書き方等について触れており、タイムリーな教</p>

(竹内委員)	<p>材であると思っています。</p> <p>それから、光村図書については、文学作品が非常に充実しており、特に6年生に「帰り道」という教材があり、主人公A、Bがそれぞれの立場で、物語が展開していきます。新しい視点で取り上げられているのが、とてもよいと感じました。</p>
吉田委員	<p>4社比べるなかで、2社が5, 6年生を2つに分けて設定していただいているところは子どもたちの負担を考えてくださっているのかなというふうに感じました。</p> <p>教育出版に関しては、こちらの答申にもございましたけれども、行間は広く読みやすいなという印象があります。</p> <p>また、光村図書と学校図書は、紙質なども目にやさしい印象があり、読みやすいなということを感じました。</p>
小田委員	<p>4社とも教科書が美しいです。イラストもとてもきれいですし、写真もふんだんに取り扱われて、子どもたちは楽しいだろうなと思って、見させていただきました。</p> <p>光村図書について、委員の皆さんのご意見が重なるところもありますが、「新聞を読もう」というところで、陸上の選手を伝える記事で、2つの新聞の記事を見比べて、子どもたちも新聞に興味を持ってもらい、それから、図書館でその記事のことを調べて、こういう見方によって違うんだなというところまで発展させられてよかったかなと思います。新聞については、他のすべての会社の教科書でも取り上げられていました。</p> <p>東京書籍では、国語辞典の使い方が詳しくて分かりやすいという先生方の意見もありました。</p> <p>子どもたちの国語力を高めるという意味合いでは、先ほど申しましたけれども、文学に親しむ、また文学作品から本を読ませ、本の紹介もあり、すべての教科書で紹介されていたので、よかったと思います。</p>
山本教育長職務代理者	<p>学校図書について、デザインや写真が、特に1年生にとって分かりやすいかと思います。ただ、わかりやすい部分、少し1, 2年生にとっては、重たいかなという印象を持っています。</p> <p>教育出版については、「学びのステップ」を可視化しており、先生方が学習をしやすいという感じを持ちました。「ごんぎつね」が4社共通の題材で、最も丁寧に重点的に扱っている会社が教育出版であると思います。ページも相当の27頁ぐらいですので、他社と比べて丁寧に扱っています。</p> <p>光村図書については、「ごんぎつね」を含めて他の教材もそうですが、よく子どもたちに考えさせるという思考を取っておられるように感じます。</p> <p>東京書籍については、「ごんぎつね」の解説が、とても丁寧にされている</p>

(山本教育長職務 代理者)	印象を持っています。
吉田委員	光村図書については、読み物と学習設定のバランスがとてもよくとれていて、先生方の指導、振り返り学習などがやりやすいのではという印象は受けました。
竹内委員	光村図書については、「個人的な学習」というのが、非常に充実していると感じました。特に、付録のなかで、学習を広げる意味で大切なまとめや、「言葉の宝箱」あるいは「本の世界を広げよう」等の資料がとても整理されています。子どもたちも興味を持って、言語や読書等いろいろ親しみやすく、学習できるように整理をされていると感じました。
小田委員	光村図書については、単元の初めに、今まで学習してきたことの確認ができるように工夫をされていると思いました。また、学習の最後で、「漢字の広場」や「言葉の宝箱」が資料として整理されており、先生方は確認をしながら教えやすいのではと思います。
山本教育長職務代 理者	<p>東京書籍については、他社と比べて、とても新しい教材を取り入れておられると感じました。4年生の教科書での広告の読み比べ、5年生の教科書での新聞記事の読み比べとあり、今の現在社会のことを考えさせるという観点がとても新鮮だったと思います。ただ、1年生の分量が他社と比べて、とても多いという印象を持っています。もちろん言語活動で身に付けたい力というのを考えておられて、言葉を重要視されているというところもあります。行も多く、先生は使いやすいと考えます。</p> <p>東京書籍と光村図書については、両社ともとても考えられていて、どちらかを採用したいと考えてます。</p> <p>光村図書については、季節の言葉、伝統文化というところも、5、6しっかり捉えられているので、他教科との連携あるいは言語活動を進めるうえで、文学作品が多いというところで、本市の言語活動の育成に合った教科書と考えています。</p>
植田教育長	<p>他に、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	多様なご意見いただきました。あえてここでまとめますと、観点という点では、内容の程度、組織配列、創意工夫。これに加えて、対応的な学びや言語感覚を醸成、他教科との関連、さらには文学への興味、関心の意欲付け、

<p>(植田教育長)</p>	<p>そして学習のめあてが大切というふうに明記されていて、これは本市の授業力向上の重点と合致するにあたり、総合的に勘案しまして、光村図書出版がふさわしいと思われませんが、光村図書出版を採択することとして決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>異議なしと認め、国語の教科書につきましては、光村図書出版を採択することといたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>では続いて、「書写」について報告をお願いいたします。</p>
<p>白井選定委員会委員長</p>	<p>「書写」は「5社」から教科書が出版されております。 どの教科書も、文字に対する関心を深め、基礎的な内容から日常生活との関連と発展的事項まで、適切な指導内容になっております。 毛筆と硬筆の関連性や学習の進めやすさ、手本としてのイメージのわかりやすさ、姿勢や水書、ローマ字の扱い、国語との関連などを観点に、ご検討いただきたいと思っております。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、それぞれの教科書を読まれてもご意見をいただきたいと思っております。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>書写の方ですけれども、書写は5社の教科書を見させていただき、文字も大きくてお手本にしても、非常に見やすくできあがってるのではと第一印象としてありました。そのなかでまず東京書籍ですけれども、これまでの見開きページで、左側の方に毛筆のお手本、そして右側の方に学習ポイントがあり、両方を比較しながら見られるので、非常に見やすくなっているなと思いました。 特にその中で硬筆と毛筆を両方関連させながら、効果的に指導できるということで非常に教師とっても指導しやすい配列になってるんじゃないかなと感じました。 またフォントとか、文字の大きさや配色など、子どもたちにとっては、見やすいようなレイアウトで、また書いてみようやってみようという意欲にも繋がる、そういった面がみられました。 それから、教育出版の方なんですけれども、特に感じたのは1、2年生の、「しょしゃたいそう」や運筆を「とん・すう・ぴた」など、音声で示しており、子どもたちが感覚的にもわかりやすくて、理解しやすく、指導もしやすいんじゃないかなってということが特徴として感じました。</p>

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>書写につきましては、各社とも大変読みやすく、姿勢等に関する技術もあって、よくまとまっているというふうには思いました。</p> <p>それで東京書籍については、実生活に生かすということを中心をおかれてサイズが大きいかなというふうに思います。</p> <p>学校図書につきましては、ローマ字の表記についてはすごくわかりやすい表記をされたというふうに思います。ただちょっと文字が多くて読みにくいなということと、書写でありながら、キャラクターのイラストが少し他社と比べて多いかなという、そういう印象を持っています。</p> <p>光村図書出版につきましては、1年生の初めに名前を書かす。6年生になって行書という形で、学年ごとにおさえる点っていうのはよくわかってその部分については、とても評価できます。</p> <p>教育出版については、写真とか絵が見やすい。見やすいのというのが、書写をとる時の一番の観点かなと思いますのでその部分は、レイアウトとか字体に創意工夫があってよかったかなというふうに思います。</p> <p>もう一社、日本文教出版につきましては、内容に国語的な要素が多く身近な題材を取り上げてるといのがすごく評価できるかなと思います。</p> <p>あと水書用紙がついてる出版会社がありますけれども、水書の使い方については、各学校で工夫がいるかなというそういうふうに考えてます。以上です。</p>
<p>小田委員</p>	<p>子どもたちが一番最初に学校に入ってまずは自分の名前を書きましょう。それから、まずはひらがなを教えてください、本を読みましようというところに繋がっていくと思うんですけども、すべて5社の教科書すべてそんな感じで子どもが入りやすい色合いとかイラストで。すごく工夫されているなと思いました。</p> <p>日本文教出版は先ほどお話があったんですけども、国語との関連性が多くて、私自身としては6年生のひらがなとカタカナができるまで、金印の写真の説明とか甲骨文字の写真もあって面白いなって。漢字がこんなふうになって面白いな。他教科の関連、社会にも関連付けているなと思いました。</p> <p>それから教育出版がイラストの使い方が文字と連動しててわかりやすいと思いました。以上です。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>私は学校図書さんについてなんですけれども、「お手本書いてみる 応用」っていう流れがしっかりとできていていいなというふうに感じました。それから、最初の入りが線の書き方、1年生の最初の入りが円を書いたり、絵を書くように楽しく入れるなという印象を受けました。水書用紙がついているところついてないところがあるのはその使い方は先生方のご判断かなというふうには感じてはいます。</p> <p>それから、教育出版さんなんですけれども、指でなぞる、空に書くという</p>

(吉田委員)	<p>楽しく学習できるというところは、とてもよかったなというふうに思っています。</p> <p>光村図書出版さんは中学への学習の移行の仕方がとてもスムーズに行くのではないかなというふうな印象を受けました。以上です</p>
山本教育長職務代理者	<p>教育出版につきましては、もう1点意見書の中にもあったんですけども、硬筆から毛筆という順番の指導というのはすごくしやすいので、いいのではないかなという意見がありました。私もその通りだというふうに思います。</p>
	<p>それで書写につきましては、やはり言葉の持つ良さ、それを認識させるというのが基本になってますので、歩いてそういう言語感覚に基づいたという部分がいいのではないかなというふうに思います。そういう点で言うと、光村図書出版か教育出版あたりが私はいいかなと思いますけれども、教育出版については先ほど言いましたように、レイアウトであるとか字体とかが見やすいので子どもたちがとつきやすいかなという、そういう印象を持っております。</p>
植田教育長	<p>その他に、ご意見いかがでしょうか。</p>
	<p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは皆さんの意見をまとめますと、書写につきましては、まず目標内容の取り扱い、内容の程度、そして補充的な学習、発展的な学習の観点に加えまして、とりわけこの毛筆と硬筆との関連性、さらにはレイアウトの見易さそして何よりも、学ぶ楽しさというようなこういったところを総合的に判断しまして、教育出版がよりふさわしいと思っておりますが、教育出版を採択することにして決定してよろしいでしょうか。</p>
	<p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>はい、それでは異議なしと認め、書写の教科書につきましては、教育出版の教科書を採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>では、続いて「社会」について、報告をお願いします。</p>
白井選定委員会委員長	<p>「社会」は「3社」から教科書が出版されております。</p> <p>3社とも、社会の目標である「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。」を踏まえて工夫されておりました。</p>

<p>(白井選定委員会 委員長)</p>	<p>文章の記述や分量、写真や挿絵、図、表など資料の配置や程度が本市の児童にとってよりふさわしく、知識・技能を活用し問題解決的な学習を通して、社会科でめざす目標を達成できるような教科書を選ぶことが大切であると考えます。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>ではそれぞれの教科書において、各委員からご意見を聞かせください。</p>
<p>山本教育長職務代 理者</p>	<p>社会につきましては3社ありますけれども、読ませてもらったところ、東京書籍については、今日的な課題、特に道徳とか防災、環境、公害そういう点の取扱いがこれからの国際社会を生きるという本市の子どもたちにとっては、いい問題提起ではないかなというふうに思いました。また学校意見書の方には、いろんなイラスト写真とか多くて、資料等の活用が非常にしやすいという学校意見書もありますので、そういう観点から読ましてもらいますと、日本地図とか世界地図とかの活用も大変多く、そういう点はいいかなというふうには思います。それから教育出版につきましては、学習の流れがすごくよくわかり、先ほど委員長が言われました、問題解決型の学習をするには非常に進めやすいかなというふうに思っています。それから、日本文教出版につきましては、他社がややもすれば関東中心のいろんな事柄を取り上げてる中で、大阪に特化した部分を取り上げてますので、大阪府に住んでる子どもたちには非常に身近に感じられるかなというふうには思いました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>私も3社を見させていただいたわけなんですけれども、どの教科書も写真等の資料が鮮やかとか綺麗で見やすくわかりやすく興味を持って学習できるなと思いました。</p> <p>その中で、まず一つは日本文教出版なんですけども、その扱っている情報量が非常に多岐にわたっていて、内容も充実してるなど。先ほど話もありましたように、特に4年生では、浄水場のところで大阪府に特化したものが載せているということで、子どもたちが、身近に学習でき、大阪の子どもたちにとってはすごく身近に感じる教科書になるかなというふうに感じました。</p> <p>また5、6年生では1冊にまとまっていますので、ちょっとさかのぼり、振り返って学習できる。そういった1年間を見通した学習ができるようにされてる。特に現代の問題と歴史との繋がりなんかも、教科書が1冊になっておりますので、振り返りながら両方見比べながらできるんじゃないかなというメリットもあるんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>また東京書籍の方なんですけども、学習の仕方として今使う、調べる、求める、広げるというような、学習の流れが非常にしっかりしてる。子どもたちが学習しやすい、そういうふうなんです意見があったので、私も子どもたちの方が、自主的に意欲的に学習できることに繋がっていくんじゃないかなというふうに感じました。以上です。</p>

<p>吉田委員</p>	<p>東京書籍さんだけが6年生、5年生が二つに分かれているというところが特徴的だったかなというふうに感じました。ただ、今後中学校に上がって行くに従って、そういうふうに分けて学習していくという仕方になっていくので、そういう練習という形では5、6年生でしていてもいいのではないかなというふうにも感じました。図や表が多くて、とてもわかりやすいのが東京書籍さんだったかなというふうに思います。</p> <p>それから、教育出版さんなんですけれども、教科書内の大事なところとかキーワードが色づけされていてとてもわかりやすい内容にはなっていたかと思います。</p> <p>先ほども言われていましたが授業の流れが示されているので、わかりやすく学習の振り返るページもあるので、内容がわかりやすくなっていると思います。</p>
<p>小田委員</p>	<p>社会の教科書を3社読ませていただいたんですけど、子どもたちは、18歳で選挙権をもちます。</p> <p>小学校を卒業して6年後、政治に参加するっていうこと。</p> <p>政治を学んでから歴史というスタンスが全部に見られたかなと思います。</p> <p>それから、市役所の仕事や防災防犯に関する記事内容もとても充実してて、子どもたちにしっかりと勉強して社会を広げて18歳になって政治にしっかりと参加していただきたいなという思いを持ちました。</p> <p>教育出版さんは先ほど話あったようにつかむ、調べる、まとめるっていうふうにまとめられていて、授業がしやすいかなと思います。</p> <p>それから、日本文教さんも1冊にまとまって1年間を見通して学習できるかな。それから、ネットを利用した選挙運動の広がりも紹介されてたっていうのが思いました。</p> <p>それから、東京書籍さんは、コラムが充実しててA問、B問の主張を子どもたちに比較させて考えましょうっていう感じになってたので、そこも社会の勉強にはとてもよかったかなと思います。以上です。</p>
<p>山本教育長職務代理人</p>	<p>ちょっと取り上げてる題材の中で気になった部分が教育出版にあります。</p> <p>6年生で日本と繋がり深い国ということで、アメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアを取り上げられてまして、他社は韓国が入ってるんですけども、韓国を取り上げてなかったというところが、それぞれ当然貿易等で繋がりが深い国なんですけれどもその部分が、少し気になりました。</p> <p>それから、東京書籍につきましては、6年生で分冊で歴史分野と、政治公民分野という形で分かれて取り上げられてることもありますけれども、全体をみて6年での国際社会での扱いというのが相当なページ数を割いてあります。これは他社と比べて随分たくさんスペースを割いておられますの</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>で、本市の子どもたちに、グローバル化した社会での生き方を学ばせるためには、ふさわしいかなというふうに思いますし、自分の考えをまとめるという方向性で編集されてますので、この編集方針については、教える側の内容というのが非常に明確化してますので、教えやすいかなというふうには思います。</p> <p>それから、日本文教出版についてはすごく情報が多いという話は先ほどありましたが、私も情報網がすごくたくさんって、それ自身はメリットであり同時にデメリットでもあるかなというふうに思ってますので、本市の子どもたちにどういう力をつけていくかというときに、情報の中からいろんなことを取捨選択をするという力も確かに必要なんですけども、子どもの一体を考えたときに、あまり情報網が多いというのは、本市にとってはちょっとデメリットなのではないかなというふうに思います。そういう意味ではいろいろ考えて東京書籍が本市の子どもたちには、ふさわしいかなというふうに考えました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>もう一つ東京書籍で、子どもたちの方が特に発展的な学習という観点で、一つ、「いかす」という部分っていうのがそれぞれの巻末の方にありまして、子どもたちが自主的にこれ調べてみようとかいうような学習に繋がってくるように、内容等が記載されているということで、子どもたちの方も興味持ってやっていけるんじゃないかなっていうのを感じました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>私も東京書籍さんが全体的に、今日的な課題が多く取り上げられていて、児童にとって身近に感じられる内容が豊富だったのではないかなというふうに感じます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>他に、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>多岐にわたるご意見ありがとうございます。皆さんの意見をまとめますと、この観点で言いますと、内容の程度、それから、創意工夫、補足的な学習、発展的な学習というポイントに合致するかなと思います。</p> <p>とりわけ、今日的課題、特に国際社会へのシェア拡大という観点。</p> <p>それから、知識技能を活用して特に自主的な問題解決型の学習を促進すると。こういった点を踏まえまして、東京書籍をより相応しいと考えますが、東京書籍を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>

植田教育長	はい。では、異議なしと認め社会の教科書は東京書籍の教科書を採択することといたします。
植田教育長	それでは続きまして、「地図」について報告をお願いします。
白井選定委員会委員長	<p>「地図」は「2社」から教科書が出版されております。</p> <p>2社ともに、社会科の学習の資料として十分な内容を備えたものでした。</p> <p>地図においては、色合いや縮尺等の見やすさの他、資料の活用として、内容の系統、配列、関連資料など、多角的な考察を広げ深める際の活用もポイントとして、ご検討いただきたいと思います。以上でございます。</p>
植田教育長	ではそれぞれの教科書を読まれての委員のご意見をお願いいたします。
吉田委員	<p>2社を比べさせていただいた時に、ぱっと見た感じの最初の入りから東京書籍さんの方はイラストっぽい感じかなというふうな印象を受けました。</p> <p>また、帝国書院さんの方は、大人が使ってもそのまま使えるような入りになっているのではないかなというふうに感じました。</p> <p>それから、東京書籍さんの方は、最初の世界地図はとても可愛らしく子どもたちに取りかかりが入りやすいのではないかっていうふうに感じます。以上です。</p>
山本教育長職務代理者	<p>東京書籍については、歴史と地図の関わりというのが75ページからですかね、すごくイメージしやすい工夫が入ってますし、後半のところでは取り上げて自然災害、それについてはよくわかる記述だなというふうに感じました。</p> <p>帝国書院につきましては、一番地図としてよかったのは、地表ごとに大きな100万分の1の地図ですか、それから30万20万というふうに地図が、全体から自分たちの住んで地域の部分までそういうイメージがしやすいというところは、やはり一番よくわかり興味も引くのではないかなというふうには思いました。</p> <p>それから、防災マップという視点があって、それが詳細ですごく現在の課題によく合ってたかなというふうには思います。そういう意味ではすごく見やすい地図が帝国書院だったというふうに思います。</p>
竹内委員	私もですね、帝国書院のことで一言あるんですけども。それは特徴として「地図マスターへの道」というのが、設けられているわけなんですけども、クイズ形式ってというかクイズでいろんなことを答えようというふうなものがあったり、そういった部分もあって、今の子どもたちの興味関心っていうのが、わくようなものを取り入れているので、子どもたちも地図に親しみを

<p>(竹内委員)</p>	<p>持って学習ができるんじゃないかなっという工夫がされてると感じました。 もう1点はですね、先ほども意見がありましたけれども、地図の方で近畿地方のあたりのところが、クローズアップされていて詳細に記載されているということで、大阪っていうか、この子どもたちにとって非常に使い勝手のいいものになるんじゃないかなっというふうに感じました。また東京書籍の方で、一番思ったことはイラストとか写真なんかをふんだんに取り入れて、子どもが同じく興味関心持って、見ていこうという感じがすごく感じられました。以上です。</p>
<p>小田委員</p>	<p>社会科の先ほどの社会科の教科とともにこれは授業中に持って行って、参考資料にもなるという観点から見たら帝国書院の方が詳しく書いてあるかなとも思いました。両方ともそうなんですけれども、保護者の方たちや私達が見てもすごくわかりやすく、家の居間に置いといたら誰かがみて、旅行のこととか考えたりして使えるような両方とも素晴らしい地図帳だと思います。以上です。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>私も帝国書院さんは情報量も豊富でさらに使い方もわかりやすくなっていてよくなったというふうに感じています。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>他に、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは各委員の意見をまとめますと、観点で見ますと、内容の程度、そして何より創意工夫ということに加えて、とりわけ先ほど縮尺等、それから防災視点かつ地図マスターというようなこと。ずばり多角的な考察を広め深めると、こういった視点から帝国書院がよりふさわしいと思いますが、帝国書院を採択するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>では、地図の教科書につきましては、帝国書院の教科書を採択することといたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは続きまして「算数」について報告をお願いします。</p>
<p>白井選定委員会委員長</p>	<p>「算数」は「6社」から教科書が出版されております。 どの教科書も、算数の目標「数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。」をふまえ、</p>

<p>(白井選定委員会 委員長)</p>	<p>十分な内容を備えたものでした。算数では、基礎的・基本的な概念や性質の理解を図り、見通しをもち統合的・発展的に考察する力を身に付けられるよう、文章の記述や分量、図や表などの資料の扱い、具体物の操作や日常生活への活用などが配慮されていることが重要であると考えます。また、プログラミングの題材の取り上げ方や、デジタルコンテンツもポイントと考えました。以上でございます。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは、各委員の皆様からご意見いただきたいと思えます。</p>
<p>小田委員</p>	<p>算数ですが、この教科は中学校の数学へと繋がっていきます。とても大事な、他も大事なんですけども、つまずきが出やすい教科でもあると思えます。そういう意味で見させていただきました。</p> <p>まず、東京書籍さんですけども、分冊になっていまして、小学校1年のときにこういう分冊でまず数字に慣れるっていう感じで。しかも教科書に書き込みやすくなっているの、子どもたちは入りやすくなっていると思えました。それから、内容なんですけれどもちょうど本市の小学校に向いてるかなって。難しすぎず易すぎずという感じでいいかなと思えました。それから、補充問題もあって、個に応じた程度によって取り組めるように工夫されているなと思えました。</p> <p>それから、私、数学が専門なんですけれども、そういう意味でちょっと分数あたりからつまずいてくるので、分数をすべて見せていただいたんですけども、啓林館がわかりやすく分数の説明があったと思えました。以上です。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>各校読ませていただいて、東京書籍については、今、話もありましたように、本市のちょうど中庸というんですか、そういう問題のレベルでいうと、扱いやすくなるといふふうに思います。数学的な見方とか考え方というのをすごく明らかにしてありますので、うまく読めば子どもたちが考えることが楽しいというふうにとどり着けるかなというふうには思います。</p> <p>学校図書ですけども、これはすごくストーリー性があったというふうに思います。それで問題の中に学校意見書にも同じような指摘がありましたけれども、思考力を問う問題が多いという。そういうことがありましたので、そこらあたりをすごく考慮してるのかなというふうに思います。日本と算数とか、あるいは自然と算数とか、先ほど委員長がおっしゃいましたように数学的な活動というところの視点では、よく考えられてるというふうに思いますし、もう1点中学校へのかけ橋というのが、すごく重要視されてまして、48ページにわたって、そういう中学校との導入の部分があります。ただこれについて重要視されてる部分はわかりますけれども、これが果たして本市にとっていいのかどうかという評価についてまた別かなと考えてます。</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>もう1点、先ほど委員長からもありましたように各学年にプログラミング的思考というのが取り上げられてますので、その部分も評価できるかなというふうに思ってます。</p> <p>それから、教育出版ですけれども、B問題の対応というのは、私、新しく思った部分が4年生で算数を使って考えようという形で、意識的にB問題に対応されてるというのはよかったかなというふうに思います。</p> <p>あとは啓林館ですけれども、啓林館につきましては、学びのサポートという部分が5年6年で40ページほど取っておられましてそのところで、学習の進め方であるとか、そういう復習ができたりというのですごくその部分がよかったかなと思います。またプログラムについては各学年一単元はあるということで、すごく注目をされてる。</p> <p>あとめあてまとめも各単元で意識的に取り上げられてて、よくわかるかなというふうに思います。ただ系統性という意味でいうと、少し次へ繋げるとい意味の部分がちょっと啓林館は弱いかなというふうに感じました。以上です。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>まず、東京書籍ですが、ここでは創意工夫という観点で話しますけれども、単元末に「確かめ」っていうコーナーがあるわけなんですけども、この扱い方がですね、どのページで学習したものかってことが明示されているので、非常に自分で振り返る時にしやすいんじゃないかなというふうに思います。</p> <p>そのことによって、算数で大事な計算知識であるとか計算する技能であるとか、そういったものを確実に身に付けていくことができるように工夫されているんじゃないかなというふうに感じました。</p> <p>それから、教育出版なんですけれども、ここでは単元末の振り返りの4コマ漫画になっていて、非常に子どもたちの方が興味関心を持って、楽しんで学習ができるんで、より工夫されてるんじゃないかな。また子どもたちの算数が苦手だという子が多々いるなかで、こういった興味づけをするような工夫してるってことは、子どもたちにとっていいことかなというふうに思いました。</p> <p>それから、もう1点はステップアップ算数というページがありまして、習熟度に応じた学習ができるようになっているので、その辺で家庭学習にも活用できるかなというふうに感じました。</p> <p>また啓林館については、これも復習という観点でいくと、単元末の方に練習問題があるわけですが、答えが巻末に載っているっていうことで、自学自習、家に帰ってする時に、答えを確かめながらできるという意味では、非常に活用できるんじゃないかなというふうに思いました。以上です。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>教育出版さんは、学びの手引きというところにどこを見たら良いかページ</p>

数が書いてあったので自分で探してわかりやすいというふうな印象を受けました。

啓林館さんはQRコードが多くて、使用できる量が多かったので、自主学習へ繋がるのがしやすいのではないかなというふうに思います。

それから、日本文教さんは、こちらも「確かめ」っていうところで、振り返りができるようにページ数が書いてある。やっぱり自分で探して学習できるっていうのは大切なんじゃないかなというふうに感じています。あと5年生上下に分かれてるっていうところも、持ち運びに便利なのではないかなというふうに感じました。

学校図書さんは、まとめとしての考え方を明確にわかりやすくしてあったので、つまずきに対しての振り返りなどができるふうになってるのではないかなというふうに感じました。

大日本図書さん、まず目次がわかりやすいなというふうに印象を受けています。ちょっと重たいかなというふうには感じました。

東京書籍さんは1年生のワークがあって指導がスムーズにいくのではないかなというふうに印象しています。以上です。

山本教育長職務代理者

大日本図書なんですけれども、一つは、幼稚園、小学校、中学校の連携というのを特に1年6年で、意識的に考えられてるっていうのはすごく良かったかなというふうに思います。

それと全体見させていただいて、1時間ごとの学びがすごくわかりやすいな。

それともう一つは統計の単元に一貫性があって1年生から6年生までグラフを利用したデータ活用の問題がずっと続いていますので、そういう統計面での単元の一貫性あって、6年間見通した学びができるかな。

それから、先ほどちょっと言いました現代的な課題というところでは、キャラクターに外国人の子どもがいてるっていうのがちょっとま新しいといえますか、身の回りの数学ということを観点として入れておられますので、そういうところの配慮があったのかなというふうに思います。

それから、日本文教出版なんですけれども、これはやはり一番は、6年生に学びやすい問題という、そういうページがあって、算数の基礎をつくっていくというところでは、やはり苦手な内容というのはどうしても子どもたち持っていますので、それをちゃんと克服していくという視点があって、そこらあたりはこれは同じようなことが、啓林館でもそういうことを考えてつまずきの多い箇所への対応と考えるおられますけれども、そういうところは強調されてる部分が良かったかなというふうに思います。

私としては、日本文教出版か啓林館がやりやすいかなというふうには考えました。

先ほど言ったように、日本文教出版については間違いやすい問題の理由を

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>考えるという、そういう事をしておられますし、主体的な学びを意識した工夫になってるかなというふうには思います。</p> <p>啓林館は先ほど言いましたように、ちょっと強調性について、どうかなというふうな部分を考えてるんですけども、本市の一つの課題であるQRコードから子どもたちが自主的に学んでいけるというそういうような部分にも特化してますし、プログラミング学習が日本文教出版では5年生に正多角形のみを取り上げられてるんですけども、啓林館について一応各学年に注目をしてるということがありますので、これからの子どもたちにとってはプログラミング学習というのはすごく大きな部分ですので、各学年でというところを取り上げていくということも大事ですので、それが教科書に載ってるか載ってないかっていうのはすごく大きな部分かなというふうに考えます。</p> <p>そういう意味でいうと啓林館が全体的には、本市の数学的活動をしていく上では、良いかなというふうに感じました。</p>
<p>小田委員</p>	<p>私自身としましては教えるってということから考えますと啓林館が使いやすいかなと思います。各時間ごとに目当てが明記されてて指導しやすい。それから見やすい教科書かなと思います。わかりやすいかなと思います。</p> <p>それから、今お話ありましたプログラミング的思考ってということで考えますと、すべての教科書がそんなふう書いてあって。</p> <p>大日本図書がプログラミングの体験をつづったプログラミングに挑戦っていう感じの迷路で、すごろくの駒の動かし方なんかを取り上げてて面白いかなと思いました。</p> <p>それから、日本文教さんは黒板のイメージで、若い先生は教えやすいかなと。全部すべてに感じたんですけども子どもが見やすくそして先生が教えやすく教科書にも書き込めるってすごい工夫されてるかなと思いました。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>他に、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>多岐にわたるご意見ありがとうございます。あえてまとめますと、まず観点で言いますと目標内容の取り扱い、それから組織配列それから、何よりも創意工夫ということになるのかなと思います。</p> <p>とりわけ、自主学習そして特につまづきやすいと言われる算数の特性から考えますと振り返り復習をするという、その工夫はなされていること。それから、なによりこのプログラミング的思考がひいては論理的思考というところを育むとこういう点から、啓林館をよりふさわしいと考えますが、啓林館を採択することとしてよろしいでしょうか。</p>

植田教育長	<p>(「異議なし」の声)</p> <p>ご異議なしと認め、算数の教科書は啓林館の教科書を採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>それでは続きまして、「理科」について、報告お願いいたします。</p>
白井選定委員会委員長	<p>「理科」は「6社」から出版されておりますが、うち1社からは見本本の提供がありませんでしたので、5社での検討となります。</p> <p>理科の目標は「自然に親しみ、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成することを目指す。」とあります。</p> <p>その目標と照らし合わせ、観察や実験を通して主体的に問題解決する見通しがもてること、また写真や資料の効果、自然環境や防災の扱い、安全の確保や事故防止などを観点に、本市の児童にふさわしい教科書を検討していただきたいと思えます。以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それでは、それぞれの教科書を読まれてのご意見を委員の皆さんからお願いいたします。</p>
小田委員	<p>私事ばかりしゃべってますけど、理科大好きなんですね。</p> <p>もう1年の時から1年の子どもたち幼稚園時代から外のお散歩とかでも蝶々を見たり、虫を見たりそれから花を見たり、そういう指導を受けていると思うんだけど、それが教科書によってますますイラストとか写真がとっても多くて、理科好きな子どもたちが育つんじゃないかなと思われるすべての教科書でした。</p> <p>その中で東京書籍なんですけども、イラスト「授業の見える化」として問題解決までの一連の流れがイラストや写真も入れて示されている。</p> <p>先生の意見書でもありました。</p> <p>それから、具体的な対話モデルが示されて児童への深い学ぶと繋がっていることができる。それから、先ほど言いましたように写真とかもとても見やすく、文字が見やすいと思えました。</p> <p>それから、啓林館なんですけども、先生のご意見の中で実験方法が記述がわかりやすく実験の後のプラスαに繋げようっていうのがよいという先生のご意見がございました。</p> <p>「まとめノート」っていうのも活用できていいなって思いました。</p> <p>これだけすばらしい教科書、是非とも保護者の人にも見ていただきたいなと思えました。</p>

<p>吉田委員</p>	<p>私は、教育出版さんなんですけれども、3年生の巻末に生き物ミニ図鑑っていうのが切り取って持ち歩ける部分があって、他社さんもついているんですけれども、他社さんの分も含めてこういう切り取って持ち歩けるカードがあるのはとても外に出での観察には役立つなというふうに感じました。</p> <p>それから、4年生では星座の早見表が作れ、6年生では折り込みの大きな人体図が載っているというところがとても興味深いなと思います。</p> <p>ただプログラミングはQRコードをやってみたんですけれどもアカウントを作るなど大人の管理が必要だなというふうには、感じました。</p> <p>それから、啓林館さんなんですけれども、3年生のやっぱり巻末資料カード、巻末のノート、観察カード、それからまとめ方や話し合いの仕方などが詳しく書いてあって、各その他各学年にも書いてあったのがとてもわかりやすいなというふうに感じます。</p> <p>それから、3年生の教科書からは、算数との繋がりが詳しく書いてあってとても他教科への関心に繋がるなというふうに思いました。それから、5年生では、雲の観察カードもあってとても興味深いなというふうに感じていましたし、災害時の避難や備え、取り組みなどについても書いてありましたので、啓林館さんとても興味深い内容があるなというふうに思っています。以上です。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p> <p>(山本教育長職務代理者)</p>	<p>理科というのは、先ほど委員長が言われたように自然に親しんで、そういう理科の見方考え方を子どもたちを育成していくということが大事かというふうに思います。そういう観点で言いますと、3年生の初めに植物とか動物とかに触れます。そういう部分での観点でいいますと東京書籍については、写真と名前があるだけで、そういう細かい特徴がなかったなというふうに思います。</p> <p>大日本図書については、写真と説明があり植物とか動物っていうのは、結構たくさん並んでたかなというふうに思います。</p> <p>学校図書については写真と名前だけで、やや植物の方は多かった。</p> <p>それから教育出版につきましては、一番説明がよくわかるんじゃないかなというふうに思いましたので植物とか動物についての写真、説明が丁寧だったなというふうに思います。</p> <p>啓林館については、説明はいいんですけれども、非常に数が少なかった、種類が少なかったなというふうに思います。同じように子どもたちは興味持つのは星座のことかなというふうに思います。星座につきましても、各社ともいろんな工夫をされています。</p> <p>教育出版については、天体図鑑とかいう形で星座に重点を置かれてて、巻頭とか巻末についても、そういうことがたくさん取り上げられてたかなというふうに思います。</p>

啓林館については、少し星座については簡単な取り上げしかしてないなどという形で。

あと学校図書、春夏秋冬、四季の扱いが、4年生の星座の部分ではすごくよくわかりました。

それから、大日本図書については、星座について星や月のことを書かれてたんですけども、なぜか東京の星空を取り上げられたので、ちょっとその意図がよくわからなかったという感想があります。

東京書籍については、写真はすごくよかったなと思いますが、星座自身は非常に数が少なかったというふうに思います。

理科については好きになるということが、一番やっぱり問題かなと思います。そういう中で言うと大日本図書については、キャリアとか防災とか環境とか、理科が好きになるという観点をよく日常生活の関わりということでは、よく取り上げられていたかなというふうには思います。

あと学習の流れが上下左右というふうによく配列をされてますので、これは学校意見書の中にあつた意見なんですけども、すごく創意工夫も見られるかなというふうには思います。以上です。

竹内委員

まず、どの教科書もイラストとか写真というのは非常に鮮明、綺麗に撮れていて、子どもたちが本当に興味を持ってできるような感じがします。そんな中で、特に一つは東京書籍なんですけども、イラスト通りの段階でね、子どもたちがやってみようというような魅力づけになるようなイラストが効果的に使われてるんじゃないかなと思います。

また、東京書籍の場合はA4版というか、教科書そのものが非常に大きくなっているので、当然写真であるとかイラストから文字が見やすいっていう利点があるんじゃないかなというふうには思いました。

それから、学校図書なんですけども、ここで私が一番感心したことは、理科で大切な事は自然に親しむということなんですけど、そこで興味関心を持てるように写真の工夫であるとか、またコラムとか専門家の人かって言うものを多岐にわたって掲載しているの、そういったものの資料が非常に充実してるなというふうには思います。それから単元ごとのまとめというのがありまして、補充問題であるとか活用問題というのが用意されて、さらにそれを深く追求しようという子どもたちにはいろいろできるようですし、知識の定着をですね、図ることもできるように工夫されているんじゃないかなというふうに感じました。

(竹内委員)

それから、啓林館なんですけども、やはり理科で大切なことは、問題を作っていく見通しを持った上で、課題、予想、実験、結果まとめというのは一連の流れが非常に明確でいいかなと感じました。特に、最後に「まとめノート」がついているので、子どもたちの方が実際ノートにまとめやすくて、そして全体の学習内容とうまくまとめられているので、非常に子どもたちの方

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>もやりやすいかなというふうに思いました。また、付録が非常に充実してるんじゃないかなっていうのは啓林館で感じました。以上です。</p> <p>5社順番に述べますと、東京書籍については6年生で、地球に生きるという形で書かれてる部分が、13ページにわたっています。これについては、すごくいい取組みだなというふうには思いました。</p> <p>大日本図書は先ほども言いましたけれども、残念だったのは6年で生物と地球環境というのを20ページにわたって取り上げられているんですけども、生物、地球と環境というテーマでありながら、残念ながら写真、他の部分では、写真とか図が大変大きくて見やすい、取り上げ方をしているんですけどもこの部分は挿絵になってるという、そういう意図がちょっとよくわからなかったということがあります。</p> <p>それから学校図書につきましては、私自身は科学者の電気等取り上げるところでは、理科に対する関心を生むという事でいい取組みだなと思いますし、表紙に3人の事務の写真があるというのはすごくよかったというふうに思います。ただ全体の中で単元の問題解決の流れがですね、単元によって、異なってる特にそれが3年生で見られましたので、この部分は同じである方がよかったのではないかなというふうに思います。</p> <p>教育出版については、初めに科学者のメッセージがあります。これも子どもたちに呼びかけるというところで、そこから学びが系統化されてるところではすごくうまく言ってるのかなというふうに思いますし、学びを開くという、初めの5ページの取組みというのは、子どもたちにとってはすごく考えやすいかなという印象を持ちました。</p> <p>啓林館については先ほどから皆さんがいろいろ言われてますけれども、一番よかったのは、科学的なアプローチを意識的に心がけているところが、よかったという部分にありますし、それから、身の回りの現象について、子どもたちに疑問から導入に入っていくって、子どもたちの主体性につなげていくというところでは、うまく構成をされてるなというふうには思いました。先ほど星座については、少し簡単で全空間がなかったのは、すごく残念だなというふうに思ったんですけどそういう意味で言うと、単元末にも単元全体の学習内容がわかるようなまとめ、まとめノートがありますので、本市の子どもには啓林館が使いやすいかなという印象を持っています。</p>
<p>(山本教育長職務代理者)</p>	
<p>植田教育長</p>	<p>はい、ありがとうございます。その他、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>はい。では、皆さんご意見をまとめますと、まず観点に言いますと組織配</p>

	<p>列、創意工夫、補充的な学習、発展的な学習ということになるかと思いますが、これに加えて、先ほどありましたが、特に科学的アプローチ、自然への接点、そして興味関心への結びつけ方、そして、本市が目指す事業改善の方向でありますけれども、当然ながらそういったものを踏まえまして、かつ、他教科との繋がり発展ということ、こういったことを総合的にみましたところ啓林館がより相応しいと思われませんが、啓林館を採択することとして決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田委員長	はい、異議なしと認め理科の教科書は啓林館の教科書を採択することといたします。
植田委員長	それでは続きまして、「生活」について報告をお願いします。
白井選定委員会委員長	<p>「生活」は「8社」から出版されておりますが、うち1社からは見本本の提供がありませんでしたので、7社での検討となります。</p> <p>どの教科書も、生活の目標「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を活かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指す。」の目標に則り、様々な活動や体験を通した学習の可能性を感じる教科書となっております。</p> <p>自分自身や自分の生活について考え、身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学べるような、多様な学習活動が実現できる教科書を選ぶことが大切であると考えます。また、写真や資料等のページの構成やスタートカリキュラムの扱いについても調査のポイントとしました。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	では、それぞれの教科書を読まれての、各委員からのご意見を頂戴したいと思います。
山本教育長職務代理者	<p>生活については、やはりスタートカリキュラムが大切かなというふうに考えてます。子どもたちが実際の身近な生活に関心を持って、それを自分の知識とか技能とかに生かしていくということが、大切かなと思います。そういう意味では各社ともいろんな工夫をされてるというふうに思います。</p> <p>それで、7社ありますので全部ちょっと言えないんですけども、学校図書で見ますと、スタートカリキュラムに「学校大好き」という形が入ってまして。入学当初の活動があつて非常に、その部分についてはよかつたというふうに思います。表現も非常にシンプルであつて、その表記も子どもたちにはわかりやすいかなという印象を持ちました。</p>

それから、啓林館につきましては、もちろん、子どもの意欲を喚起するために、いろいろ工夫をされてまして特に「わくわくボックス」という形で子どもたちの意欲を喚起するようなものがあつたのが、すごくよかつたかなと思いますし、ちょっと視点は変わりますけれども、編集方針として安全安心というところに力点を置かれているというのが、すごく読んでよくわかり、それが保護者の皆様へという形で、いかされてるかなというふうには思いました。

それから、日本文教出版につきましては、導入で身の回りの安全ということをまず取り上げてますので、そういうめあてが一目でわかるというところが、すごくやりやすい。それと、部分的な話なんですけれども、植物の種というところが、子どもたちの身の回りから種に触れる機会が多いですけれどもその種が、他社と比べてすごく多かつたなというふうにあります。

もう一つは小単元の学習内容が2ページでわかりやすく1時間でそれをするんだということが想定をされてましたので、先生が使いやすい。というふうにあります。3社しか触れられてませんが、以上です。

竹内委員

私の方からまず、大日本図書では見開きでページいっぱい書いているということで非常に見やすいということがあります。また、スタートカリキュラムにしても、大日本図書の場合はみんな仲良しというような形で、入学当初、スタートの時に「学校楽しいよ」というような雰囲気づくりという意味で、非常に子どもたちの方が学習もしやすいかなというふうに感じました。

また学校図書においてはですね、各それぞれのパンフのところに「物知りノート」というような形で、子どもたちが見通しを持って学習できるような工夫がされているんじゃないかなと思いました。

それから、教育出版なんですけれども、ここで一番、私がいいなと思ったことは、自分の生活に置き換えながら考えるというようなことで、「マニュアルのポケット」というようなコーナーが設定されていまして、それを手がかりにして、いろんなシステム入力を身につけるといふような内容になつてんで子どもたちの方が、力をつけていけるんじゃないかなというふうに思いました。

(竹内委員)

もう一つ教育出版でいいなと思ったことは、子どもたちの興味関心を持つていう意味で、キャラクターを用いて子どもの目線で学習できるように工夫されているなと思います。そして、最後その各單元ごとに満足密度というものがありまして、自分がなかなか達成できるかなあというものを楽しみながら学習できるということで、子どもたちの学習の意欲にも繋がつていけるんじゃないかなというふうに思いました。

それから、啓林館ですけども、1点目としては学習時間というのがありまして、ひらがなであるとか記録の仕方等については、言葉のヒントとか話し

合いのヒントというものが、一つにまとめてあるということで非常に学習の役に立つんじゃないかなっていうふうに感じました。

また、啓林館のいいところとして、防災学習について安全学習として取り扱っているということがありまして、また写真資料も豊富なのでそういった意味では今のニーズに合っているんじゃないかなっていうふうに感じました。以上です。

吉田委員

光村図書さんなんですけど、やっぱり私の個人的な意見になるかもしれませんが、紙質、見やすい紙質だなあというふうな印象を受けます。中身も落ち着いた色合いで見やすいのではないかなっていうふうに思いました。

それから、理科や算数などとの関わりも見えて、生きてくるのでは、学習に生きてくるのではないかなっていうふうにも感じました。

それから、東京書籍さんなんですけれども、やはり教科書がちょっと大きいので、ランドセルの中での取扱いに関してはちょっとどうかなというふうにも思っています。それから、写真よりもイラストが多い、やさしい感じではあるんですけれどもそれがいいのか悪いのか。イラストの方が多いなという印象があります。観察カードなどの書き方はわかりやすく書いてあるのはよかったなというふうに思っています。

そうですね、啓林館はイラストにいろんな形で多様な人種や子どもが入っているっていうところは、人権的配慮は見られるなというふうに思います。他のところも、東京書籍さんなどもイラストの中に人権配慮はされていますけれども、啓林館さんでそういうふうに思いました。以上です。

小田委員

生活っていう教科って面白いなと思いました。

理科に関係することもあり、社会も国語もそれから、全部が入って、ドキドキして1年生になってこの教科がとっても面白いと思ってくれるのではないかなと思いました。

大日本図書さんなんですけれども、学習道具箱っていうのを手がかりに勉強ができるようになっていきます。それから、先ほどお話ありましたように障がいのある人、外国の人たちなど多様な人々がイラストで入ってていいなって思います。

それから、あと町探検がとっても面白い。すべての教科書面白かったですね、イラストもとっても子どもたちがワクワクするような町の暮らしがしっかりと書いてあっていいなって思います。特に啓林館、先ほどおっしゃったように防災学習とか安全学習がしっかりと掲載されてていいと思います。

あと、もう一度戻って大日本図書さんなんですけれども、見開きいっぱいの写真やイラストで楽しく学ぶことができるっていう先生のご意見もございました。以上です。

山本教育長職務代
理者

東京書籍なんですけれども、「本当の大きさポケット」という図鑑が 8 ページあります。これについては、子どもの関心というか、好奇心を刺激するような形にはなってるかなと思うんですけども。実際こういう形をしようと思えば、大判にならざるを得ないというところの両方の部分があつて、重たいということの原因にもなってるのかなというふうに思います。

それから、大日本図書につきましては、導入部分で学校の日ということ、仲間づくりというのをすごく意識をされてるんだなというふうには思いました。その関係で、子どものイラストにいろんな一日のイラストはあるということにも言ってるのかなと思いますので、そういうところはすごくよかったなと思いますし、下の方で「ありがとう」というところの取り上げのところに、家族に対しての感謝の気持ちっていうのは表れているというところも、すごくよく考えられてるなと思いました。

あと教育出版ですけれども、意見書にもあったんですけども、6つのサイコロというところで、今何を取り上げてるかということはすごくわかりやすいようにはなってます。

ただ私自身は、キャラクターが子ども目線なんですけれども、開いてる中で、違和感を感じました。これは大人だからそういうふうに思ったのかもわかりませんので子ども目線ということでは、ちょっと判断ができないんですけれどもそういうところは少し感じました。

あと、光村図書出版ですけれども、これはすごくページ数の問題で言いますと、少なく、軽くて、扱いやすい。それから、もう一つは町探検なんかに見られますけれども、グループ活動を取り上げて、それは最終クラスの中の班活動に繋がっていくというような形にはなってるかなと思いますけれども、やや国語的といいますか、そういう読ませるといようなことが多くて、ちょっと国語が苦手な子どもにとっては、少ししんどいかなというそういう印象を持ちました。

そういうところを考えて私は日本文教出版か啓林館か教育出版がいいなという、そういう印象を持ったんですけども、日本文教出版については、3年の理科、社会への連携というのをすごく意識して、先ほど言いましたようにやりやすい教科書だとは思いますが、ちょっと他社と比べて、字も小さいというのが気になりました。

そういう観点で言いますと、総合的にまとまって、なおかつ、先ほど言いましたように安心安全に力点を備えているという点からいうと、啓林館がまとまっているのかなというふうには思います。新聞とかパンフレットの買い方なんかを取り上げてますのでここらあたりも新しい視点ですので、子どもたち、学生のポイントというのが、上手くまとまっているかなというふうに思います。

ただちょっと難点は費用が多いので、そこらあたりの扱いが、啓林館はしんどいかなと思いますが、そういう感じを持っています。

植田教育長	<p>他に、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>多岐にわたるご意見ありがとうございました。皆様のご意見をまとめますとまず観点としては、まず目標内容の取り扱い、そして人権への取り扱い、創意工夫、補充的な学習、発展的な学習ということになるかと思えます。これに加えまして特に入学初期からのスムーズなスタートというポイント。</p> <p>そして多様な学習への発展、そして安心安全というこういった点を踏まえまして、啓林館がより相応しいと思われませんが、啓林館の採択することとして決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>はい、では異議なしと認め生活の教科書は、啓林館の教科書を採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>では続きまして、「音楽」について報告をお願いいたします。</p>
白井選定委員会委員長	<p>「音楽」は「2社」から教科書が出版されております。</p> <p>いずれの教科書も、音楽の目標「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」をふまえ、よく工夫されていました。</p> <p>写真や組織・配列の効果等を中心に、共通事項を含めた様々な国の音楽からの選曲、題材ごとのねらいの示し方、情景を想像しやすい写真の用い方等に調査のポイントとして重きを置きました。以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それでは各委員からそれぞれの教科書を読まれてのご意見を頂戴したいと思います。</p>
吉田委員	<p>はい。まず教育出版さんなんですが、大きさが1、2年生と3、4、5、6年生で1、2年生の方が小さくなっているというところは、持ち運びの配慮がされているのかなというふうにちょっと思いました。それから、おおきなかぶが盛り込まれているところは国語の関連がされているのではないかなというふうに感じています。それから、透明なフィルムの工夫など覚えやすくわかりやすい工夫もされていたなというふうに思っています。</p> <p>それから、教育芸術社さんの方なんですが、全体的にちょっと小さめな感</p>

<p>竹内委員</p>	<p>じで作られているのかなという印象があり、見やすく使いやすいのかなというふうにも思いました。それから、鍵盤ハーモニカの音の列を絵で表していたり、とてもわかりやすい感じになっていると思います。</p> <p>両方を比べてみると、散歩という曲が教育出版さんの方は後半で全校合唱。それから、教育芸術さんの方は、前半に持ってきてきているというところが大きな違いかなというふうに私の中では思っています。以上です。</p> <p>まず、教育出版ですが、ここで鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどの楽器の扱い方についてですけれども、これは実際に写真や絵を提示しているということで非常に子どもたちがぱっと見て、わかりやすいっというような表現をしてるかなというふうに思います。もう一点は、子どもたちが聞いたことのあるような曲とか魅力的な曲が、教育芸術よりは多少多いかなというのを感じました。また、リアルな写真とかイラスト等が多いので、歌う時に非常にイメージしやすいっというようなことがありました。そういった意味で写真とイラストを見ながら感受性を高めていくということには非常に効果的だというふうに思います。</p> <p>それから、あと教育芸術社につきましてはですね、各最後の方にですね、チャレンジであるとか、ステップアップのコーナーにあってですね、個人子どもによってはですね、これやってみよう、あれやってみようというような形で、学びをですね、より深めたり広げたりするような工夫されてるんじゃないかなというふうに感じました。以上です。</p>
<p>小田委員</p>	<p>教育出版社さんですけれども、日本の音楽と世界の音楽が並列に取り扱えられてて、様々な国の音楽に触れるようなできるように配慮されているということをおもいました。美しい写真が多かったなって、それから、わかりやすく、なじみのある曲もたくさん出てました。</p> <p>それから、教育芸術さんの方はなんですけど先ほどありましたように鍵盤ハーモニカのことが詳しく書いてあります。</p> <p>それから、楽器の写真も多かったかなと思います。以上です。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>教育出版については、今、もう言われたように私もなじみのある曲が多いということ。あるいは、写真等が美しく、情景がわかりやすいのではよかったかなというふうに思います。</p> <p>教育芸術社の方は日本の文化を大切にしている心情とか、そういう部分が、すごく意識的にされてますので、特に3年生なんかは、そういうところ取り上げられてる。あるいは6年生では、考えたり話し合ったりする活動というのは取り上げてますので、そこらあたりも一つの意識的な構成かなというふうに思います。</p> <p>ただ、オーケストラの取り上げ方を見ますと教育芸術社の方はオーケスト</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>ラの全体図を書き、あと管弦樂を取り上げてるといふ形になりますので、教育出版の方については、オーケストラについて全体がわかる工夫をされているというところで、そこらあたりは、今の子どもたちが実際の自分の生活の中で、音楽に触れていくというところでは全体像のわかる方が関心は高いかなというそういう印象を持ちました。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>他に、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>はい。それでは皆さんご意見まとめますと、まず観点でいいますと、人権への取扱い、そして内容の程度、創意工夫ということ。これがまずあろうかと思ひます。</p> <p>そしてこれに加えて、特に馴染みある曲ということの取扱い、さらにはそれを踏まえた音楽を豊かに生活へつなげていくという、そういった観点を見たいと思ひます。</p> <p>よってですね、教育出版がより相応しいと思ひますが、教育出版社を採択することに決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
<p>植田教育長</p>	<p>はい。それでは音楽の教科書は教育出版の教科書を採択することといたします。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>続いて、「図画工作」について報告をお願いいたします。</p>
<p>白井選定委員会委員長</p>	<p>「図画工作」は「2社」から教科書が出版されております。</p> <p>2社とも、図工の目標「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。」をふまへ、児童の主体的な姿の育成や多様な学習の可能性を感じる教科書となっております。</p> <p>図工の教科書においては、材料や用具の取扱い、題材名、場所の設定、掲載されている写真の数や大きさ、取り上げ方などが大切であると思ひます。</p> <p>作品例や題材、資料などが、児童の新たな発想や構想のヒントとなり、自分の見方や感じ方を広げられることをポイントとして検討していただきますようよろしくお願ひいたします。</p> <p>以上でございます。</p>

植田教育長	<p>ではそれぞれの教科書読まれての各委員さんからのご意見をいただきたいと思います。</p>
竹内委員	<p>私の方からは2社の方の教科書を見させていただいたなかで、共通して言えることはですね、ほんとにどの教科書にもあるんですけども、写真であるとかイラストであるとかパッとこう目で見て子どもたちがやってみようっていうような形になるような素晴らしいイラストなり写真なりというのは綺麗に形成されてるなと思いました。</p> <p>その中で、まず開隆堂なんですけれども、内容の取扱いで3観点の目標について、子どもたちが親しめるようになってことで「くふうさん」であるとか「ひらめきさん」、あるいは「こころさん」というようなネーミングのキャラクターが、ふきだしで子どもたちにアドバイスを送ってるっていうことがあって、子どもたちにとっても親しみやすいと同時に、わかりやすいものになってるのではないかなっていうふうに思いました。</p> <p>それから、最初の見開きのページで、目次的な形で1年間の活動の内容が紹介されて子どもたちが1年間通して「こんなことやってみよう」「あんなことやってみよう」と絵画にしろ工作にしろですね、子どもたちの方がやってみようというような意識づけになるし、また、見通しを持ってこう学習ができるかなというふうに思いました。</p> <p>それから、日本文教出版の方なんですけれども、ここでは特に「地域の繋がり」が図画工作の役割っていう形で地域教材等にも、取り組めるような工夫、設定するページがあると思いました。それから、あと造形遊びについて、非常にこう詳しくというかいろんな活動を紹介しているので子どもたちの方が非常に興味関心を抱きやすいような形になってるのではないかなっていうふうに思いました。以上です。</p>
吉田委員	<p>日本文教さんの方なんですけれども、どちらの出版会社さんも、資料として道具の使い方が書かれているんですが、日本文教さんの使ってみよう材料と道具の部分で紐の結び方というところがいろいろな種類な紐の結び方が載っていたのがあったとしては、面白いなというふうに感じました。</p> <p>それから、「地域とつながる」という項目では伝統文化の紹介など協力している感じの写真などもあって周りとの繋がりを感じるなというところでは、</p> <p>開隆堂さんの方は、項目ごとに必要なものが書かれているというところが見やすくわかりやすく、それから、先ほどもありますが1年間の活動がわかりやすく載っているところは、いいなというふうに思いました。</p> <p>それから、安全な使い方への注意事項っていうこともあって、とてもいいなというふうに思いました。以上です。</p>

山本教育長職務代
理者

2社読ませていただいて、まず開隆堂の方ですけれども、外で子どもたちが土いじりをするとか、そういう発想があって、粘土を作るとかそういう造形活動は入っているところはすごくよかったなと思います。

鑑賞面でいうと、結構なページをとって鑑賞の部分を書いていますし、そこに外国の絵とかが、取り組まれてることについてはすごく、それともう1点、下の方で、北斎とか、特に龍の絵ですね、そういうのがすごく印象深く取り組まれてるなというふうには思いました。

それから、わかりやすカードという意味では全学年でページは統一されてるといのは一つの売りになってるかなと思います。それ自身が去年と同じページだなというふうには内容的にはそういう形にはなっていない部分がありますので、いいか悪いかということではちょっとよくわかりませんが、とにかく全学年でページが統一されています。だから2ページで、一単位になっている場合と、1ページで一単位になっている場合というふうになってますけれども、そこらあたりは先生方の使い方かなというふうには思います。

それから、日本文教出版につきましては、先ほど委員長がおっしゃったように、子どもたちが写真に触れてってというような部分もあるかと思えますけれども、子どもたちの作品の完成した写真が、結構印象的だったなというのは、日本文教出版ではあります。

それともう一つは、やっぱりわくわく感っていうのはどうしても美術のまですぐ図工の場合は必要ですので、そういう意味でいうと自然との繋がりとか、そういうところに自然とか、特に3年生4年生あたりでは、社会との繋がりとか、そういうようなところが、すごく関連としては置かれたなというのは思います。子どもは自分らの活動をやっているそういう活動風景というのは、写真として扱われてる部分がありますから、そこらあたりもちょっとわくわく感があるかなというふうには思います。

それで5、6年生で身近なものを見つめて創造する力というのがありますので、その点については非常によかったと思います。基本的にはやっぱり身近なものから、そういうところを見て感じて作品を作っていくということの視点が大事ですので、そこらあたりは、より感受性であるとか、感性とか、創造力の育成には繋がっていくかなと、もう一点よかった点は全単元が2ページでされたので、教材としては扱いやすいかなというふうには思います。以上です。

小田委員

子どもたちが大好きな図画工作だと思うんですね、学校の参観によしてもらったら、まず1番めに飛び込むのが子どもたちの作品です。絵がとっても伸び伸びと自由にカラフルで書いてある。それから、工作も素晴らしいですよ。そういうお手本になるようなが日本文教出版さんには結構あるかなと思います。

もちろん開隆堂さんもいっぱいあるんですけど、開隆堂さんでいいな

(小田委員)	<p>と思ったのは先ほどおっしゃいました美術館、という感じで、日本の作品を龍のところですね龍を見るところであって面白いなと。子どもたちの啓発になって私たち僕も美術館に行ってみようかなと思う子どもが増えるんじゃないかなと思います。それから、あとはそうですね、開隆堂さんだったらしっかりQRコード、他の教科書もそうですけれども、QRコードを読み取ると図工で扱う材料用具っていうのがよくわかるように設定されているし、「ひらめきコーナー」っていうのがあって、学習が深めるようにされています。それから、日本文教出版さんだったらめあてをしっかりと明記しているのは、指導しやすいかなと思います。それから、吹き出しがカラフルで子どもの目にもとまりやすいかなと思いました。以上です。</p>
竹内委員	<p>日本文教出版の方なんですけれども、これ何回も先ほども言われたことなんですけども、子どもたちのね、様子っていうか活動の様子とかね、作品とかいうのがですね、写真とかイラスト等でたくさん載っているということで、やっぱりちょっと子どもたちが見ることによってですね、これやってみようというようなね、意識づけにも繋がっていくなというふうに思うので、子どもたちが楽しくやっていて、あれやっぺいこう、これやっぺいこうということで、子どもたちが楽しいといえるというか感じる内容になってるんじゃないかなっていう感じがしました。</p>
植田教育長	<p>他に、ご意見いかがでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは皆様のご意見まとめますと、まず観点に言いますと、まず目標内容の取扱い、組織配列、創意工夫するというこの3つかと思います。これに加えて、地域社会との繋がり、自然との繋がり、これを意識されたもの。かつ、それに基づいて児童が自分の見方、感じ方、そして感性を広げあえるという。こういった点を踏まえて、日本文教出版がより相応しいと思いますが、日本文教出版を採択することとして決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>ご異議なしと認め、図画工作の教科書は日本文教出版の教科書採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>それでは、審議の途中でありますけれども、ここで午後一時まで休憩させていただきますと思いますがよろしいでしょうか。</p>

	<p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>はい、ではこれより休憩に入ります。再開は午後一時でございます。よろしくお願いたします。</p>
	<p>(休憩後)</p>
植田教育長	<p>それでは休憩を閉じまして教育委員会定例会教科書採択を再開いたします。</p>
植田教育長	<p>では続きまして、小学校「家庭」について報告をお願いいたします。</p>
白井選定委員会委員長	<p>「家庭」は「2社」から教科書が出版されております。 両社とも、家庭の目標である「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成することを目指す。」をふまえられていました。 消費者教育、キャリア教育、環境教育の観点を踏まえ、生活体験と関連づけた問題解決的な学習が実現できるような教科書であること、また、調理実習や裁縫等の写真の扱いに加え、安全の確保や事故防止について、丁寧かつ見やすい構成になっているか等を観点に、より本市の児童にとってふさわしいかご検討いただければと思います。 以上でございます。</p>
植田教育長	<p>ではそれぞれの教科書がありまして各委員からご意見いただきたいと思っております。</p>
小田委員	<p>東京書籍さんなんですけれども、写真が大きくて見えやすく作業がよくわかるってことを思いました。それから、「プロに聞く」というコーナーがあって、キャリア教育まで発展させることがいいなと思いました。それから、先生のご意見なんですけれども、「安全に実施しよう」のページでは調理実習や製作実習だけでなく、地震が起こったときの対処についても学べる点がいいという意見がございました。それから、手順の中に片付けがあって良いという意見もございました。 それから、開隆堂さんなんですけれども、和食の味噌汁の出汁に関する記述がすごく多くて、煮干し、昆布、鰹節、干しいたけなどわかりやすくっていいなと思いました。以上です。</p>

<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>東京書籍を読ませていただいて、今言われた意見と違うところは、日本文化の取扱いの中に「もったいない」という特集があって、あれについてはよく考えられてるなというふうに思いました。それから、これは大判ということにも関係するかと思うんですけども、実物大の写真が、特に聞き手のところで、載ってることがあって、これは大判の利点かなというふうに思います。</p> <p>逆に開隆堂は版が小さいことがありますので、使いやすいかなというふうには思います。</p> <p>それと、人権的な配慮については両者とも家族の問題であるとかあるいは外国人の問題であるとかそういうところについては、きっちり配慮されてたかなというふうに思います。本市の先ほど委員長が説明された求める教科書の量としては、調理実習なんかの時のやっぱり安全面の配慮という点、あるいは、生活と環境から実際に身近な生活からそういうことを学んでいくと言う意味でいうと、消費者の問題あるいはキャリア教育の問題、環境問題等を取り上げるという意味からいうと開隆堂の方がよりきっちりとそういう点については、触れあえてたかなというふうに思いました。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>どちらの出版社さんもページ数のところに英単語が書いてあり、他教科への繋がりを感じました。それから、開隆堂さんの方は揺れ方の変化というところでじゃがいもの断面図を出してきていただいているのがわかりやすいなというふうにも感じました。それから、両方ともガスの使い方について書いてありますけれども。</p> <p>電磁調理器を使っている家庭では、ガスへの指導に対するをとり上げ方として詳しくのっているのは、今とても助かるなと思いましたが、開隆堂さんの方がお湯沸かした時のやかんからの炎のはみ出し方とかそういう安全対策について取り上げているところもあったなっていうことも思います。以上です。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>私も2社の教科書とも見させてもらったわけなんですけれども、開隆堂さんの方で思ったことなんですけども、教材を作るにあたって、消費者教育であるとか、キャリア教育とかあるいは各教育のそれぞれの観点が、随所に盛り込まれている内容じゃないかなと思います。その中で、例えば技能的な部分、知識技能的な部分なんかをですね、家庭で補習というか、親子で味噌汁を作ってみよう、やってみようみたいに、家庭生活にも応用できるようなところがあるんじゃないか。そしてまたさらには、発展的な学習にもそういった意味で繋がっていくんじゃないかなというふうに感じました。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>はい、ありがとうございます。その他いかがでしょうか。</p>

植田教育長	<p>それでは皆様のご意見まとめますと、まず観点としては人権の取扱い、内容の程度、創意工夫、それから発展的な学習というポイントかと思います。</p> <p>そして何よりも消費者教育、キャリア教育、環境教育、そして安全と。こういう各ポイントが含まれてるといふ点、これらを踏まえまして、開隆堂がより相応しいと思われませんが、開隆堂を採択することと決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（「異議なし」の声）</p>
植田教育長	<p>はい。では異議なしと認め、家庭の教科書は開隆堂の教科書を採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>続きまして、保健について報告をお願いいたします。</p>
白井選定委員会委員長	<p>「保健」は「5社」から教科書が出版されております。</p> <p>どの教科書も、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す。」という目標に則り、よく工夫されていました。</p> <p>保健では、自らの健康や安全の課題解決に向けて、児童が主体的に学び、自ら改善していくための具体的な資質や能力を育てるための内容が盛り込まれているか、コンピュータの使用やいじめの問題など現代的な課題をどのように取り上げているか、また文章や写真、挿絵やグラフ等の資料の扱いはどうか等を観点に、ご検討いただきたいと思ひます。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>では、保健の5社の教科書読まれたのご意見をいただきたいと思ひます。</p>
竹内委員	<p>まず東京書籍ですけれども、ここでね、文章がわかりやすく、記述が非常に簡潔明朗になっており、分量も児童の発達段階に応じた内容になってるんじゃないかなというのが1点、2点めとしてはインターネットによる犯罪被害等の現代的な課題、そしてもう一つはエイズ等の感染症の取扱いが見られるっていうことが大きな特徴としてあるかなというふうに思ひます。それから、3点めとして各単元毎に「まとめる」とか「いかす」という活動が設定されており、学習を振り返ろうってところで、まとめようというような形で学習の進め方が示されているので、知識の定着ってことも図ることができるんじゃないかなというふうに思ひます。そういった意味で子どもたちにとって使いやすい、教科書かなというふうに感じました。</p> <p>それから、学研教育みらいですけれども、ここは一単位時間を2ページっ</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>という基本構成としてるので、非常に見通しをもって学習できるように配慮されているので、児童にとっても、そう負担にならないような内容になっているのではないかなというふうに思います。発展とか、もっと知りたい、調べたいから、科学の芽などという項目がありまして、子どもたちの方がもう少し深く、考えてみよう、見てみようというような形で興味関心を持って学習できるようによく工夫されているなというふうに思いました。以上です。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>5社を読ませていただいて、東京書籍については、今言われたように、エイズを扱うとか、いう形で、今日的な課題ということについてはすごく配慮されて、そういう課題を子どもたちはどう生かしていくのかという観点なんかを感じる事ができました。</p> <p>あと光文書院につきましては、巻頭のところに、スポーツ選手からのメッセージですかね。何のために学ぶのかというところとか、そういう実際にスポーツをしている選手のメッセージがあって、そこらあたりからは、導入していくということですがすごくやりやすいかな。それで1時間に1ページで扱えるようになってるところが、先生間にとってはやりやすいというふうには思いました。それから、3年4年で体の発達、5年6年で広げよう深めようという形で、子どもたちが自分の健康の課題を見つける工夫をしている。そういうところもすごく顕著なところで、導入から学習課題にいつて活動してというそういう形の全単元統一したデザインをつくってわかりやすくしてるんですけども、その活動の課題の部分についてはすごくわかりやすい工夫がされているというふうに思いました。</p> <p>あと学研教育みらいについては、いま竹内委員が言われたように、科学の芽という部分で、すごく見えないものが可視化されているという点については3年生の13ページに特にそういうのが顕著に見られるんですけども、そういう視点がよかったかなというのと、先ほど委員長言われたように健康について子どもたちが考えていくという視点が、大事な部分がありますので、そういうところと言うと、自分の問題とか身近な問題として、取り組める工夫が日々の生活行動を健康に関連付けてるというところでは、わかりやすかったかなというふうに思います。</p> <p>もう1点学研教育みらいについては、5年6年でケガ、それから犯罪の防止あるいは自然災害、それから、不安悩み等のメンタルの面でのそういうところに、触れられているっていうのも、全体の構成を考える上ではよかったかなと思います。</p> <p>あと、文教社につきましては、考えてみよう、振り返ってみよう、話してみようという形でそこあたりの扱い方がですね、流れとしてすごくよくわかったというふうに思います。</p> <p>ただ少しページに新しい文にレベルアップ、情熱コーナーとか、すごくページが、つまり感っていうんですか。そういうものをちょっと文教社につい</p>

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>ては感じました。その部分は資料が多くて、例えば他社ではあまり扱ってはない食育が扱われたりというそういう詳細な部分もあるという利点はありましたけれども、そういう印象を持ちました。以上です。</p>
<p>小田委員</p>	<p>保健ですが、自分の体を大事にする、命を大事にすることは結局、他者のところ、他者の命を大事にするっていう教育になると思うので、そういうところ観点から皆さんとても工夫されているというふうに思いました。それから、日本文教出版なんですけれども、心と体の性が一致しない悩みに対して、一人一人の違いを認め合うことが大事だっということが書かれていたと思います。</p> <p>それから、学研さんなんですけど、防犯とか防災を有して豊富な資料をもとに学習できるように構成されているなと思います。それから、いじめの問題すべて取り扱ってるんですけども、先ほど言いました自分のところも大事、お友達の体も大事でけがをしない。それから、家族の健康という面ですごく、特にがんについてどの教科書もとても詳しく、写真もとってもリアルで、もう喫煙とかいろんなストレスのこととか、すごい詳しく書かれていて、しっかりと皆さん勉強して欲しいなと思いました。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>その他ご意見でしょうか。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>光文書院さんは、巻末に共に生きるというところ、マタニティマーク等支援を求める方への配慮の説明などが載っているのいいなというふうに思いました。</p> <p>それから、文教社さんは実験などの資料が多く、わかりやすいなというふうな感じがしました。</p> <p>それから、東京書籍さんは書き込むスペースが一つ一つが広いので、子どもたちが自由に書き込めるところがいいなというふうにも思いました。そういうところとしては学研さんの書き込みが多かったので、そのままワークシートとしても使えるということにも繋がってきていいなというふうに思います。</p> <p>それから、学研さんは防犯。それから犯罪について、防災についての考え方も多く取り上げられていて、イラストや表が多く、わかりやすくよかったと思います。</p>
<p>山本教育長職務代 理者</p>	<p>今、言われたように東京書籍については、記入箇所、記入欄が多いということについてはすごくいいかなと思いますし、そういう意味でいうたら子どもが考えるということについての観点が、うまく使えるかなというふうに思います。</p> <p>それで全体見まして、本市のいろいろと保健に関する課題として出てま</p>

	<p>す、より日常生活に関係した部分といたしますか、先ほど言いましたように学研教育みらいの5、6年のケガ犯罪防止、自然災害の問題、ちょっと触れませんでしたけれども、さっき委員長言われたコンピューターの使用ということについても、学研教育みらいはそのことについて配慮をされてるかなというふうに思います。</p> <p>そういう点から東京書籍か学研教育みらいが本市には、相応しいかなというような印象は持っております。</p>
植田教育長	<p>はい、ありがとうございます。その他ご意見いかがでしょうか。</p>
植田教育長	<p>はい。それでは皆様のご意見をまとめますとまず観点で見ますと、目標内容の取り扱い、人権の扱い、創意工夫というこの大きな3つかと思います。</p> <p>これに加えてやはり日常生活、特に自らの健康や安全についての自分たちでちゃんと解決できていくその力ということに対する、こういった要請ということが反映されてると。そういった観点を踏まえまして、学研教育みらいがより採択がより相応しいとなりますが、いかがでございましょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>では異議なしと認め、保健の教科書は学研教育みらいの教科書を採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>それでは、続きまして英語について、報告をお願いいたします。</p>
白井選定委員会委員長	<p>「英語」は「7社」から教科書が出版されております。</p> <p>英語の目標は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」です。</p> <p>「聞くこと」「話すこと」を中心に「読むこと」「書くこと」へと児童の意欲を高める構成になっていることや、目的や場面、状況に応じたコミュニケーションが図れるよう設定されていること等がポイントとなると思います。</p> <p>特に、文章、写真、挿絵、言語材料のサイズや配置、書くことの分量、4線幅の比率、「CAN-DOリスト」の取扱い、中学校への接続などを観点に、検討いただきたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
植田教育長	<p>それでは、7社の教科書を読まれての各委員からのご意見をいただきたい</p>

<p>吉田委員</p>	<p>と思います。</p> <p>各社とも巻末に付録として絵カードがついているところが多かったなどという印象がありました。それと、キーボード、アルファベットと一緒にキーボードの表示もついてるところが多かったのですが、開隆堂さんの場合はそのキーボードの図が大きく載っていきまして、自分でタッチの練習というか、実際に触って配列を感じるというところではやりやすいのではないかなというふうに感じました。</p> <p>教育出版さんについては、日本の名所や名物マップっていうところが面白いなというふうに感じています。</p> <p>それから、啓林館さんは文章の中に、単語のところにアクセントに印がついているというのがいいなというふうに思いました。</p> <p>それから光村図書出版さんは書いて消せるアルファベット表、実際に書いてそれをまた消してまた書き込めるというアルファベット表がついているというところが特徴だなと思いました。</p> <p>それから、学校図書さんはちょっと教科書が大きいかなという印象とそれから、リストがわかりやすく使いやすいなという印象がありました。どこの絵カードがついてるところに私がちょっと思ったのは絵カードを切り取った後に収納できる何か封筒みたいなものが、巻末についていたら、なくす子が少ないんじゃないかなっていう印象は持ちました。以上です。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>まず東京書籍からいいです。特にここでは内容面ではイラストであるとか、写真とかをわかりやすく示すなどして、目的あるいは場面、状況なんかを意識した言語活動ができるようにして、何よりも子どもたちが楽しく、学習できるっていうことが、私も大事なかなと思うんですけども、そういった意味で苦労されてるなというふうに思いました。</p> <p>また、一つ英語で大事なことが、音声から文字への流れというか、両方そういうことが必要なんですけれども、そういった意味で各單元ごとに聞く話すであるとか、読む書くっていうのは、学習の流れがバランスよくスムーズに学習できるようになっているんでないかなと。さっきも言いましたように子どもたちが本当に楽しく学習できるような内容になってるかなというふうに思います。</p> <p>それから、光村図書出版なんですけれども、ここはですね、単元の初めに、いわゆるそのゴールっていうのをめざすもの明確に示しており、そして手だてとして「HOP」「STEP 1」「STEP 2」あるいは「JUMP」というような形で、段階ごとに話す活動から聞く活動、先ほどの読む活動、各活動へとそういう広まり、学習がそういう形で進めやすいように構成されているってことで、子どもたちが非常に使いやすいものになってるかなというふうに感じました。</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>それから、3点めは開隆堂さんなんですけど、特徴的なことはトレンドコーナーがあり、6年生の巻末の最後には中学校との連携っていう意味で中学校へ繋げるというところがありまして、子どもたちの方が自分たちでやってみようというような意識づけにもなるだろうし、そういった意味でより高度になって、発展的な学習ができるようによく工夫されているかなというふうに思いました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>全社読ましていただいて、まず初めに東京書籍それから学校図書なんですけれども、やっぱり大判になってますので、大きくて見やすい取っつきやすいなというのは思いました。</p> <p>これ自身が、小学校で初めて外国語活動入れるときに、子どもたちにとってはわかりやすいという面がある一方、外国語だけが大き判ということについてはちょっと考えなければならぬかなとは思ってます。</p> <p>それで東京書籍につきましては、別冊に「Picture Dictionary」ですか、があって、その部分の活用がすごくやりやすいし、いいかなというふうに思ってます。それで、「Enjoy Communication」というコーナーがあって、自分自身が学習した表現でさらにコミュニケーション力を高めようというような形の活動を取り上げてますので、この部分も評価できるというふうに思います。</p> <p>それから、開隆堂につきましては先ほどから皆さんおっしゃってる通りだと思います。ただ「CAN-DO マップ」というのがありますので、これは中学校では、必修の形になってるかなと思いますのでその部分を、中学校への連結という形でされてるのは、いいと思いますし、導入部分に「Let's Lesson」というのがあってこれは出口までいくと「Try」に変わっていくという形で、外国語の文字になれるという視点からは、学習した表現を使ってうまく活動していくように仕組まれてるかなというふうに思います。</p> <p>それから、6年生の「Lesson 9」で大きなかぶというのを取り上げてます。これについては、他で取り上げてるところもあるかと思いますが、日本のものを取り上げていくというところで、より子どもたちが英語に、繋がっていくことができるんじゃないか。</p> <p>あとですね、委員長が書きやすい四線というなことをちょっと言われたんですが、これについては評価が分かれると思うんですけども四線の幅がいいのか悪いのかという部分についてはちょっと判断がしづらいというかしんどいなと思います。</p> <p>三省堂につきましては、一番よかったのはよかったというか一番わかりやすかったのは、「HOP」「STEP」「JUMP」というところで「JUMP」でプレゼンをしようというそのプレゼンは将来の夢というふうになってますので、その部分の流れがすごくよくわかって編集の方針としては、いいなというふうに思いました。それから、実世界への英語というのは5年生で取り上げられてま</p>

(山本教育長職務
代理者)

すが、ちょっと残念だったのはメッセージカードを作るということのみになってますので、そこらあたりの広がりももう少しあればというふうに思います。

あと教育出版ですけれども、教育出版の一番の観点はこれは本市の考えることとも合うと思うんですけれども、やはり聞くという書くという作業の前に聞くという活動を重視するというので、そういう形の身近な世界から実際に学校生活に合うようなそういう活動やテーマ。そういうことをやられて地域それからコミュニケーションに生かしていくという部分があるので、この部分の構成がうまくできてるというふうに思いました。

もう一つは導入の部分に楽しく学べる紙面という形で結構な7ページか8ページぐらいのペース数をとって、そういう一番英語嫌いを作らないというのが基本ですけれども、そういうところを取り上げてる部分はよかったかなと思います。ただ、6年生で、興味関心を育てるというところで、世界でいろんな話をしたり行きたい国があるとかあるいは逆に、自分が好きな日本の文化があるとかってというようなことを取り上げてるんですけれども、その部分が読ましていただいてやや世界との繋がりについて、もう少し弱いなというそういう感じを持ちました。

光村図書出版につきましては、ゴールをきっちり見通す。これは「HOP!」「STEP」「JUMP」を「HOP」「STEP」「GOAL」ですね。

すいません、「HOP!」「STEP」「JUMP」で「GOAL」を見通せるように、抱えてますので、その部分がすごくわかりやすくよかったなというふうに思います。また6年で日本の行事を8ページにわたって、英語で取り上げてますので、これも子どもたちの観点からはいいかなと思います。ただ全体を見て、一つの文章が長い、文章量が多いということで、始めて外国語をやる本市の子どもたちにとってこの部分が負担になるのではないかなという気がちょっといたしました。

それから、啓林館につきましては、カード毎のめあてというのがすごくよくわかるようになって活動の意図がよくわかります。

それから、保護者へのメッセージがありますのでこの5社のメッセージというのも、実際子どもたちが初めて外国を学ぶというところで保護者に対する不安とかもありますので、そういうメッセージはこれは大なり小なり各社はされてるんですけれども、啓林館のメッセージはすごくよかったなというふうには思います。

アクセントの記事については先ほど吉田委員が言われた通りだと思います。それから、もう一つ、よかった部分は、外国の違いに気づかせるなど様々な課題を取り上げて、異文化理解っていうんですか、そこらあたりに繋げようという意図はよくわかったと思います。反面、ここでも大きなかぶを取り上げてるんですけれども、日本の文化の部分について、もう一つ弱いなという印象を持ちましたのでここら辺りがきっちり子どもたちの関心を英語に

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>つなげるような日本文化の紹介をしていただけたら、よかったかなというふうに思います。以上です。</p>
<p>小田委員</p>	<p>学校図書ですが、中学校で突然英語を習うよりは、こういう小さな子どもたちが英語に触れる。特に来年は東京オリンピックで外国の方がいっぱいいらっしゃると思います。その時に、子どもたちが外国人と話す機会もきっとひとつとしたらどこか街角であるかもわからないので、文法よりもとにかく英語をシャワーのように聞くというのはとても大事だと思うんですね、そういう意味で見えますと、すべてが子どもが入っていきやすいような挿絵、イラストになってて、怖がらずに英語いけるかなって思いました。</p> <p>三省堂さんですけども、内容が1ページまた2ページで完結してて使いやすいかなと思います。</p> <p>それから、同じく三省堂さんで1学年で3つ、2学年で3つの大きな言語活動の目標設定して、それに向けて「HOP」「STEP」「JUMP」って段階的に配列されてるので、先生も教えやすいかなと思います。</p> <p>それから、他の教科書もそうなんですけどストーリーが盛り込まれて、ストーリーが見えるような動画とか昔話を見ながら入り込めやすいと思いました。</p> <p>東京書籍さんですけども外国人だけでなく、多国籍で挿絵で人権にとっても配慮されている。それは他の教科書でも見ましたらほとんどそんな感じで登場人物たちは多国籍のイラストになっています。</p> <p>それから、啓林館さんですけども、車椅子に乗った人とかの社会的弱者を気づかう心が育つように配慮されているっていうのもよかったかなと思います。とにかく私自身も含めてなんですけど、そこも含めたの私だけですね、英語いっぱい勉強したんですけども、大学までしたんですけど全然しゃべれません。外国人がしゃべってるのはあんまり早すぎると聞き取れないっていう。本当に残念なことになってますので、そうならないように、もうとにかく英語に慣れていていただきたいな、慣れ親しんで英語力をがつくように、小学校の先生、中学校の先生によりしくお願いいたします。以上です。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>小学校における「英語」の採択は初めてなものですからもう少し的を絞りたいところなんですけれども、本市の子どもたちのためにという観点でもう一言二言ご意見いただければありがたく思います。いかがでしょうか。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>はい。開隆堂さんですけども、巻末の単語リストが調べていると、その単語に横にそれが載っているページ数が入っていて、それと連語リストも載っていて、とても調べやすくわかりやすいなというふうに感じました。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>開隆堂さんですけども、その一つの特徴として文字に慣れるというよう</p>

<p>(竹内委員)</p>	<p>なコーナーがあるわけなんですけども、そこでやはり書くということ、すぐもちろん話すことも大事なんですけども、書くことも非常に大事かなと思うんですけども、そこで発声、音と文字との関係を元にしてあるわけなんですけども、特に印象に残ったことが鉛筆で書く、書きやすいとか消すと汚れてしまうことにもなるんですけれども、そういった意味で消しやすいという特別な用紙を使っているっていうところで、子どもたちが抵抗なくやれるんじゃないかなってというような感じを持ちました。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>いろいろそれぞれの会社が英語嫌いを作らなくて、英語に慣れ親しむという観点でつくっておられるんですけれども、全部読ませていただいた中で、私自身は、東京書籍、開隆堂、学校図書あたりがいいかなというような感触を持っています。東京書籍は先ほど言いましたように、別冊の使い方というんですか、これはすごく効果があるなというふうに思っています。ただ難点は大判で大きくて見やすいという観点がありますけれども、大きくなっていうのはちょっと引かかるところです。</p> <p>開隆堂につきましては先ほど言いました点、プラス身近なことから、それを触れて、そのシェアを世界に広げるといふ。これはどの出版会社でもそういう発想で検証されてるんですけれども、特に5年生6年生で英語でいろいろある世界を5年生であり、6年生で、その世界の中にいる自分というふうに観点がはっきりしていますので、そういうところでは、うまく構成されてるかなというふうに思います。</p> <p>同じ観点でいうと学校図書も実はまず外国の文化、異文化に触れ、そしてそれから外国へ行くという。英語に持っていくというそういう配慮をしている点があります。</p> <p>またこれも先ほど言いましたように、少し大判になってるというところが、ちょっと難点かなというふうには思っています。そこら辺りを版の大きさということ度を外視すれば私は東京書籍か開隆堂、学校図書あたりが、本市の子どもたちにとっては、取っつきやすいかなというそういう印象を持っています。</p>
<p>植田教育長</p>	<p>それでは皆さんのご意見をまとめますとまず観点で言いますと、目標内容の取扱い、組織配列それから補充的な学習、発展的学習というこの観点かと思えます。とりわけ、コミュニケーション能力を拡大するという点で、まず児童でございまして、英語4技能ありますが、まずキーボードなりもしくは文字という、こういったポイントがよりスムーズに入っていける。その後の中学校への発展的な学習というところも一致ができてるところ。当然ながら CAN-DO がしっかり明確化されている。以上な点から、開隆堂を採択することがよりふさわしいと思えますが、いかがでございましょうか。</p>

	<p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>はい、異議なしと認めを英語の教科書は開隆堂の教科書を採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>それでは、小学校最後の道徳について、報告をお願いいたします。</p>
植田教育長	<p>「道徳」は「8社」から教科書が出版されております。 いずれも、道徳の目標「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己をみつめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。」をふまえ、よく工夫されてきました。 読み物の内容として物語や体験、国内外の伝記等のバランスはどうか、別冊の有無とともにその編成の仕方がどうであるか、文字・写真・挿絵等の配置や見やすさ、人権尊重の観点等もポイントであると考えました。 また、子どもたちの発言や思考を促し、子どもたち自身がどう感じ考え、どう生きるかという心情や態度などを育むことに繋げていけるかという視点で、検討していただきたいと思っております。以上でございます。</p>
植田教育長	<p>では、道徳について8社の教科書を読まれてのご意見をいただきたいと思っております。</p>
山本教育長職務代理者	<p>まず、東京書籍から読ませていただいた感想を述べたいと思っております。 東京書籍につきましては、全学年通しで問題の解決型学習である。そしていじめをしない、許さないという二つの観点で貫かれているという。いじめの問題では1年生についてはちょっとそこまで詳しくは触れられてないんですけども、全学年そういう観点で触れられてるというのが、通っててよかったかなというふうには思います。 それとあと、体験的活動との関連という意味で言いますと、3年生とか5年生で大通りの桜並木であるとか、ボランティア活動であるとか、そういうところの取りあえがうまくできてたかなというふうに思いました。 それが全体で冒頭にテーマがあります。それで各学年で重点的に取り上げられてて、そういう目標が設定されて、なおかつそこに教材が複数配置されということですからテーマとしては、わかりやすかったんではないかなというふうに思います。</p>
竹内委員	<p>はい。まずですね東京書籍ですけども、ここではですね、先ほど言われましたけれども、やっぱり心の健康という意味では、やっぱりいじめの問題</p>

(竹内委員)

というのが非常に大きな問題かなと思いますので、全学年を通して発達段階に応じた形で、展開されてるってことがいいかなと思います。そしてまた巻末の最後の方で「繋がる広がる」というコーナーがありまして。そこでは、自分の考えをその子なりに深めることができる。そして、また学期ごとの振り返りなんかもできるように、自分が記入できる欄があって、活用できるかなっていうふうに思います。

それから学校図書なんですけども、ここの特徴として、「きづき」と「まなび」という2冊、分冊構成になっていて、「きづき」のところでは4つの視点でバランスよくいろいろな内容が組織配列されてるってことがありまして、また「まなび」のところでは内容ごとにワークシートになっているので、自分の考えやあるいは友達の影響なんかも記録できるようになっており、そのことで、自己評価できるということで、「まなび」がより深まるんではないかなってような特徴があるかなと思います。

それから、廣済堂あかつきなんですけれども、教科書と道德のノートが別冊になっていて、特に道德ノートについては、教材の順ではなくて項目ごとに配置されているので、いろいろ事項をより深く見つめるとそういう場になっているんじゃないかなと思います。そして、巻末でいうと、書き込み欄がたくさんあって自己評価や自己の振り返りというものに使いやすくて、学習の深みというのが、できるんではないかなというふうに思いました。

それから3つめとして日本文教出版なんですけども、廣済堂あかつきと同じように、道德ノートが別冊になっているという意味では共通点があるかなと思います。そして、特にノートはですね、自分の心の成長の記録にも繋がっていきまして、子どもたちの心の強さというものになっていくんじゃないかなと思います。そして、もう一つはいじめ問題について各学期に一度ずつ、設けられており、年間を通して1回きりじゃなくて、年間を通してやる取り組みができ、いじめ問題の扱いに関しては充実してるんじゃないかなというふうに思います。以上です。

小田委員

光村図書さんなんですけれども、冒頭にテーマとの問いかけがあって入りやすいかなと思いました。それから、1年間で3つのまとまりに分けてあって段階的に進められるんじゃないかなと思います。

それから、その3つの区切りごとに「学びの記録」の欄があって、学習の振り返り、それから、つなげられるっていうことについていいのではないかなと思います。それとイラスト、漫画なんか子どもが興味を持ちやすくなっていると思います。吉武新作さんの漫画なんかも入ってて面白いなと思いました。

それから、東京書籍さんは記述式に自己評価ができて、顔マークを塗りつぶす欄なんかあって、子どもが振り返りやすいのではないかなと思います。日本文教さんはやっぱり先ほどから話出てました、道德ノートがあるって

<p>(小田委員)</p> <p>吉田委員</p>	<p>うことが子どもの学びの記録に残せるかなと思います。</p> <p>私は教育出版さんなんですが、考えよう、深めようという項目によって、学びのめやすがわかりやすくなっていて、教える方も時間配分や指導がしやすいのではないかなっていうふうに感じました。</p> <p>それから、6年生だったと思うんですけど松下幸之助さんの話が出ていて、私たちからしたら近く門真のことなので親しみがあって、家の中でも話題がのぼって、行ってみようっていうそういうところにも繋がるんじゃないかなというふうに、せっかくなので近くにそういうところがあるんだよっていうことに繋がるのではないかなっていうふうに考えました。</p> <p>それから、日本文教出版さんは特に目次を見ると教科書の中の印について目次で詳しく載っているの、子どもたちにも理解がしやすいのではないかなというふうに感じています。</p> <p>日本文教出版さん、ちょっと分厚いかなからっていうふうにも思ったんですけどもノートもしっかり使いやすいノートになっていていいと思いました。</p> <p>それから、学研教育みらいさんですが、ちょっと大きいかなと思ったんですけども、厚さからしたら薄いなので、扱いはそんなに縦長なのでそんなに扱いにくいということはないのかなというふうにも感じました。それから、大きいので見やすい。それから字が大きくなって見やすい。こちら教科書内のマークについて詳しく載っているの子どもたちが理解しやすいというところもあって、いいと思いました。以上です。</p>
<p>山本教育長職務代理者</p>	<p>学校図書ですけども、きづきを見つけるというところではすごくよく考えられてると思います。「きづき」と「学び」という2分冊になって、学びの部分がですね、A B C Dの配列になってますので、その部分については使うときにちょっと配慮が要るかなというのは思いました。</p> <p>あと学びの道しるべというところで、担任が使いやすいかな。心のパレットということで方向性が、示されてます。</p> <p>それで特に4年生のところでは、「してよいこと」と「していけないこと」という形の判断を問うというか、そういうことの分類を示してます。これはいいか悪いかはまた別なんですけれども、これを本来子どもたちに考えさせなきゃならないという、当然その視点もありますので、そういうところについての配慮があるのかなとは思いますが、そこらあたりはよく取り上げてるとは思います。</p> <p>それから、教育出版ですけどもこれうまく考えられてて教材数が30、35ということで、一つの教材を1時間で取り扱えればいいというふうな形になってますので、取扱いしやすいかな。</p> <p>それから、他と比べての違いとしては礼儀マナーの部分について、その定</p>

(山本教育長職務
代理者)

着を図りたいというのが見えています。その点については、今後よく考えられてる部分、それが現代的な課題、自然とか生命とかグローバル社会に対する対応、そこらあたりも教育出版は考えられてたかなと思います。

光村図書出版ですけれども、これはですね年間の構成の工夫をすごくされてます。

B・C・Aという順番でいってBの生命自然自分自身に関することについては、年間を通して配列すると、いう形になってますので、この部分が他社とは違うかなというふうに思います。それとやはりいじめに特化をされてますので、差別のない社会を作るんだというところの意志が表れてますので、特にいじめ防止対策推進法を取り上げてる。これ光村図書出版さんだけじゃないんですが、そういうところも取り上げられてると思います。

あと日本文教出版につきましては、道徳のノートですね、この部分が、廣済堂あかつきとは違いまして、分冊の部分が教材ごとになってる。その部分は先生からしたら使いやすいかなというふうには思いますし、道徳ノートの中に含まれてる道徳の学習を通して学んだこと等を記述する部分がありますけれども、これは原稿を使ってる部分と考えたら、すごく改善をされてるなというふうに思います。ただまた後程ふれますが、ページ数が他社と比べて、一番多いかなというのはちょっと気になることは気になるところです。5年でのび太に学ぼうという形で、のび太のことをすごく書いてます。すでにもうのび太の部分を結論付けてます。ちょっとこの部分は引っかかりを持つところです。のび太はいつまでも落ち込まない、やさしいとか、熱い心を持ってるとかいうような結論をすでに提示をしてる。これは実際の学びのところからいうと学習の手引きであるとかこころのベンチ等で学びをさしているところについてはとてもそことの整合性がどうかなっていうのはちょっと感じました。

光文書院についてなんですけれども、一番の部分はですね情報モラルが非常に多いなというのを感じてます。重点的な取材を各学年で設定してるというところもすごくわかりやすい部分で、それが各教材の広げようというところに、繋がってるのかなというふうに思います。光文書院さんだけ取り扱ってる部分が違うんですけれども、他のところは1年が動物中心の登場人物、3、4年で生活、あるいは5、6年に人物というふうになってるんですけれども、これは全学年で同じキャラクターが成長していくというような取り上げ方をしてますので、学びの足跡という形で綺麗に自身が学んでいく中で課題とか目標を見つけるっていう創意工夫があるということですので、同じキャラクターが成長していく姿っていうのはよくわかるかなというふうに思います。それともう一つは冒頭からテーマにきっちり書いてますけれども、発問を重視してる。これはすごく評価できる点かなというふうな考えてます。ただ6年生で自然とかに触れる部分が少し少ないのは、気になってます。

<p>(山本教育長職務 代理者)</p>	<p>長くなって申し訳ありませんが、あと学研教育みらいです。これは先ほど委員長も言われたように、イラストとか写真とかがあるんですけども、それもわかりやすいという部分なんですけれども、表紙の裏にしかないというのがちょっと残念かなというふうに思いました。ただ最重点テーマに命というテーマもはっきり明確に書かれていますので、3年生では意味をまない。命というのは高学年にそういうことを掲げてますので、これはよくわかるかなというふうに思います。</p> <p>廣濟堂あかつきですが、これはABCのバランスが一番よかったかなと思います。導入に金子みすづの詩を持ってきてますので、これについても子どもたちはとつきやすいかなというふうには思います。ただ分冊の方が少し教材になっておりませんので、その部分が、道徳ノートですけども、内容項目順に別に配列をしておりますので、少し活用の段階で、活用の仕方が難しいかなというふうに思います。</p> <p>それちょっとABCのバランスで言いますと光村図書出版と学研教育みらいがバランスとしては、ABCについては一番、だいたい4分の1程度ぐらいのバランスで配置をしておりますので、それについては一番よかったかなと思います。先ほど言いましたように、日本文教出版についてはいろいろと取り上げていい教科書だかなと思いますけれども、ページ数が多いというのがちょっと気になるところです。長くなりましたが、以上です。</p>
<p>竹内委員</p>	<p>私は学研の方ですけども、なかで特徴的なことは、いじめ防止対策推進法の観点も取り入れて、命の教育っていうところに非常に重点的に扱ってるんじゃないかなと思います。特にその中で命のマークっていうのがついていて、子どもたちが非常に意識しやすい、そしてまた、命っていうのは非常に大事なんだなっていうのが再認識しやすい、そういうふうに工夫されているかなと思いました。</p> <p>それから、光村図書出版の方で感じたことなんですけども、ここでは体験的に学習ができるように工夫されてるおり、各学年に一つずつ劇や寸劇的なことで、役割、演技分担をして、演技するとかいうような形で体験的に理解しあおうっていう面で面白いというか展開されているので、子どもたちの方も意識しやすく学習しやすいかなというふうに思いました。</p>
<p>山本教育長職務代 理者</p>	<p>何冊か選ばないといけないと思いますので、一応、東京書籍については、思考を導くということを考えてますので、何が大切かというのを問うてるかなと思います。</p> <p>そういうところでは、いい教科書ですけども、子どもたちはっていうか先生が使うときに、ちょっとしんどい部分もあるかなと。これは廣濟堂あかつきにも同じように思います。先生方は学習の道筋あるいは学習を広げるといふ観点で、独自性を出せますのでやりやすいんですけども、別冊を使わ</p>

(山本教育長職務
代理者)

なきゃなりません。その別冊を使うのに、廣濟堂あかつきの場合は少ししんどい部分があるかなとは思ってます。

それから学校図書ですけれども、考えを見つめようという形で、別冊のまとめの部分ですけれども、考えてるんですけどもこの中でね、具体例を問うてます。その具体例を問う中で本来子どもたちが考えることができればいいんですけども、そこまではちょっとしんどいかなというようなこともちょっと感じます。

光文書院についてはまとめ表がいるようで、非常にシンプルで良いんですけども、そのシンプルさでいうところが使うときにうまく使えるかなという心配はします。

それで光村図書出版についてはですね、いま竹内委員の方からもありましたように、自分のことを考えさせる。そういう観点は、すごくあるかというふうに思います。

世界人権宣言あるいは子どもの権利条約を光村図書出版は取り上げてます。先ほど言いましたいじめ対策推進防止法も取り上げてますけれども、そういうところがあって自分をと考えるという点ではすごく考えやすいというか、考えさせる教科書かなと思います。

日本文教出版については個別の事象の考えというのは、深まっていくように、考える見つめるという形でしてます。

ただこれが全体を考えるとときの視点を子どもたちがつくれるかな。その分がちょっとしんどいところがあるかなと思いますが、これはあの別冊をうまく使うことによってそういうことはクリアできるかなというふうには思います。

ちょっと一部触れてないところがありますが、そういう観点から見ると、私自身は光村図書出版か日本文教出版が本市の子どもたちの方の部分には、使いやすいかな。両者を比べると、光村図書出版自身はちょっと本市の教科書としてはすごくいいんですけども、本市の子どもたちがそこまで考えていく道筋としては、ちょっと高度かなという印象を持っています。以上です。

吉田委員

光村図書出版さんの内容の中で夏休みや冬休みに入る前の心構えというところを項目に挙げているところが、私の中でいいなと思ったところです。あと、ノートがないんですけども、書き込みがしやすくなっているかなというふうなところもありました。光村図書出版さんも世界人権宣言などにも、子供の権利条約に触れてらっしゃるので、そちらもいいなと思います。

今の話が日本文教出版ですね。やっぱりちょっと教科書の厚さが厚いかなというところがあるんですけども、ノートがやっぱり使いやすいそうというのが一番私の中では、こちらかなというふうに思っています。

あと内容が読み物的ではなく一つひとつがわりと短く、わかりやすくつくられているかなというふうな印象を持っています。

植田教育長	<p>はい。それでは皆様のご意見をまとめますと、まず観点で言いますと、まず内容の程度、創意工夫、補充的な学習、発展的な学習、もちろんこの人権ということもあるんですが、とりわけこの人権については、いじめという観点でこれは明確に取り上げられていること。そして別冊ノートのことなんですけども。児童が自分の考えを自らしっかり書いて表してそれを記録していき、自分の成長過程にすると、そういったポイントが重視されるかなというところを踏まえまして、日本文教出版がより相応しいと思われませんが、日本文教出版を採択することと決定してよろしいでしょうか。</p>
植田教育長	<p>ご異議なしと認め、道徳と教科書は日本文教出版の教科書を採択することといたします。</p>
植田教育長	<p>それでは、これで小学校における教科書の採択は終了いたしました。この後、改めて採択の結果を発表させていただきますが、その前にご意見はございませんでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>ないようですので、では小学校の採択結果を発表いたします。</p>
植田教育長	<p>国語については、光村図書出版の教科書を採択いたします。 書写については、教育出版の教科書を採択いたします。 社会については、東京書籍の教科書を採択いたします。 地図については、帝国書院の教科書を採択いたします。 算数については、啓林館の教科書を採択いたします。 理科については、啓林館の教科書を採択いたします。 生活については、啓林館の教科書を採択いたします。 音楽については、教育出版の教科書を採択いたします。 図画工作については、日本文教出版の教科書を採択いたします。 家庭については、開隆堂出版の教科書を採択いたします。 保健については、学研教育みらいの教科書を採択いたします。 英語については、開隆堂出版の教科書を採択いたします。 道徳については、日本文教出版の教科書を採択いたします。 以上が小学校の採択結果でございますが、皆様ご異議はございませんでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>

植田教育長	<p>ないようですので、令和2年度に、四條畷市立小学校で使用する教科書についての審議を終了します。</p>
植田教育長	<p>続いて、令和2年度使用四條畷市立中学校教科用図書の採択について、まず、事務局より説明願います。</p>
木村教育部上席主幹(教育総務担当)兼学校教育課人権教育・教科指導担当課長兼教育センター長	<p>令和2年度に、四條畷市立中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、『義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律』第14条(同一教科用図書を採択する期間)に「義務教育諸学校において使用する教科用図書については、政令で定めるところにより、政令で定める期間、毎年度、種目ごとに同一の教科用図書を採択するものとする。」とあります。</p> <p>この法の中でいう政令で定める期間とは、『義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令』第15条(同一教科用図書を採択する期間)に「法第14条の規定により種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、四年とする。」とあります。</p> <p>したがって、中学校の特別な教科、道徳については、平成31年度と同一の教科書を採択しなければなりません。</p> <p>一方、道徳の教科書以外につきましては、今年度はその四年目であることから、本来であれば、令和2年度に四條畷市立中学校で使用する教科用図書につきましては、採択替えの年となっております。</p> <p>しかしながら、中学校及び義務教育学校後期課程(以下、中学校とする。)の令和2年度使用教科用図書については、「特別の教科 道徳」(以下、道徳とする。)及び、学校教育法附則第9条の規定による一般図書を除き、新たに合格した図書がありませんでした。</p> <p>以上のことから、令和2年度に四條畷市立中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の調査研究の内容等を活用しながら適正・公正な答申がなされるよう、選定委員会に諮問いただきました。ここからは選定委員会の委員長であります、くすのき小学校白井校長よりご説明させていただきます。</p>
植田教育長	<p>では、審議に入ります。白井選定委員長、報告をお願いします。</p>
白井選定委員会委員長	<p>令和2年度に四條畷市立中学校で使用する教科用図書の採択につきましては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度の調査研究の内容等を活用しながら当選定委員会としては答申させていただきます。</p> <p>それでは、答申の18ページからをご覧ください。現在中学校で使用されている教科書の発行者について記載しています。以上です。</p>

植田教育長	それぞれの中学校の教科書を読まれてのご意見をお聞かせ下さい。
山本教育長職務代理者	中学校の教科用図書については、4年という形で実質3年少ししか使っていないかと思うんですけれども、その中で、選定委員会の方で、いろいろと各現場から意見を聞いておられるかと思うんですけれども、何かこの場でと特出するような意見というのはありませんでしたでしょうか。
白井選定委員会委員長	使用実績につきましては、校長会教頭会を通して、学校現場の意見を聴取いたしました。現在は使用している教科書につきましては、記述やICT機器の取扱いにつきまして、意見もありましたが、やはり4年間を使用してきた実績を評価すべきではないか。ということで選定委員会では意見がまとまりました。
山本教育長職務代理者	ICTとかデジタル教材の問題につきましては、4年前に選定した時には、あまり主要なテーマとしては考慮しなかったという部分があります。あと記述の面でちょっと問題ではないかと思えますけれども、何かその問題提起があったということなんですけれども。全体を見ると、特にそういう変更してまでというようなご意見ではないと思えますので、現状のまま1年、同じ教科書を採用するというので良いかと私は思います。以上です。
吉田委員	私も今の職務代理の意見と同じで、大きな現場での混乱がなければ、このままでいていただいた方がいいんじゃないかというふうに思います。
竹内委員	私も同じような考えで現状において子どもたちもまた先生たちの方も使用実績に基づいてやってるということで大きな変更点がなければ、そのままの方が子どもたちにとっても、教師にとってもいいんじゃないかなと思います。以上です。
小田委員	私も同様です。現場の先生からも、それから生徒の方かもそういう意見がないのであれば、このままで使用実績もあることですし、このままでいいと思います。
植田教育長	その他追加でご意見はございませんでしょうか。
植田教育長	では、皆様のご意見をまとめますと、平成27年度に採択された教科用図書と同一のものを採択することと決定してよろしいですか。 (「異議なし」の声)

植田教育長	<p>異議なしと認め、令和2年度使用の四條畷市立中学校教科用図書は、現在使用されている発行者の教科用図書を採択することとします。 本件について、質疑等ございませんか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>ここで改めて、令和2年度使用の四條畷市立中学校教科用図書の採択の結果を発表させていただきますが、その前にご意見はありませんか。</p>
植田教育長	<p>それでは、現行とすべて同一でございますが、改めて各教科種目応じて、個別に確認をさせていただきます。</p>
植田教育長	<p>国語については、光村図書出版 書写についても、同じく光村図書出版 地理については、教育出版 歴史については、育鵬社 公民についても、同じく育鵬社 地図については、東京書籍 数学についても、同じく東京書籍 理科については、啓林館 音楽一般については、教育出版 音楽（器楽）についても、同じく教育出版 美術については、日本文教出版 保健体育については、東京書籍 家庭についても、同じく東京書籍 技術についても、同じく東京書籍 英語については、 となっております。すべて同一となります。</p>
植田教育長	<p>皆さん、再度ご異議はございませんでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
植田教育長	<p>ないようですので、令和2年度に、四條畷市立中学校で使用する教科書についての審議を終了します。 これをもって、議案第13号、令和2年度使用四條畷市立学校教科用図書の採択についての審議を終了します。 本日以後、事務局のほうから大阪府教育委員会に対して報告をあげていただきます。</p>

植田教育長	<p>それでは、その他の案件に移ります。 その他の案件はございますでしょうか。</p> <p>(「なし」の声)</p>
植田教育長	<p>それでは、本日予定の案件の審議は、すべて終了しました。 これもちまして、定例会を閉会いたします。お疲れ様でございました。</p>

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和元年7月24日

四 條 畷 市 教 育 長

植 田 篤 司

四 條 畷 市 教 育 委 員

竹 内 千 佳 夫